amnimo

# amnimo X/G/R シリーズ
# リリースノート

AX30

AX11

AX21

AG10

AG20

AR10

AR20

IM AMD03A91-01JA 第 50 版

# 対応機種の見かた

本書は、複数の機種に対応しています。以下に、対応機種のアイコンを示します。

| | |
|---|---|
| SN | amnimo X シリーズ　センサー接続エッジゲートウェイ 屋内タイプ |
| AI | amnimo X シリーズ　AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ |
| AI | amnimo X シリーズ　AI エッジゲートウェイ 屋外タイプ |
| GW | amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ |
| GW | amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ |
| RT | amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ |
| RT | amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ |

# エッジゲートウェイシリーズのファームウェア

各エッジゲートウェイシリーズの機器にはそれぞれ専用のファームウェア※1 が存在します。全体更新によるアップデート※2 の際はご注意ください。

| 機種 | 最新ファームウェア参照先 URL※3 |
|---|---|
| SN センサー接続エッジゲートウェイ屋内タイプ | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax30.amf |
| AI AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax11.amf |
| AI AI エッジゲートウェイ 屋外タイプ | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax21.amf |
| GW エッジゲートウェイ 屋内タイプ | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf |
| GW エッジゲートウェイ 屋外タイプ | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag20.amf |
| RT IoT ルーター 屋内タイプ | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10.amf |
| RT IoT ルーター 屋外タイプ | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20.amf |

※1 本体部のバージョンの確認方法は、『エッジゲートウェイシリーズ CLI ユーザーズマニュアル』の『2.4.1 ファームウェアのバージョンを表示する』を参照ください。

※2 全体更新によるアップデート方法は、『エッジゲートウェイシリーズ CLI ユーザーズマニュアル』の『2.4.4 ファームウェアの更新する』を参照ください。

※3 各ファームウェアにアクセスする場合は、アカウントとパスワードが必要になります。弊社サポートに別途ご連絡ください。

# 第1章　リリースノート

以下に、初回のリリース以降の新機能と変更点に関する情報を示します。

➔ 制限事項と既知問題については、「2.1 制限事項と既知問題について」をご参照ください。

## 1.1　最新バージョン

| 製品 | ファームウェアバージョン※ | Ubuntu |
|---|---|---|
| 屋内タイプ<br>センサー接続ゲートウェイ | 3.4.0 | 24.04 |
| 屋内タイプ/屋外タイプ<br>AI エッジゲートウェイ | | |
| 屋内タイプ/屋外タイプ<br>エッジゲートウェイ | | |
| 屋内タイプ/屋外タイプ<br>IoT ルーター | | |

※各ファームウェアにインストールされているソフトウェアのバージョンは「1.3 ファームウェアと関連ソフトウェアのバージョン対応表」を参照ください。

Ubuntu18.04 ベース(バージョン 1.x.x)と Ubuntu20.04 ベース(バージョン 2.x.x)のような異なる Ubuntu ベース間からの差分更新(do-release-upgrade 相当)には対応しておりません。Ubuntu ベース環境の更新は、全体更新※にて実施してください。

※『エッジゲートウェイ CLI ユーザーズマニュアル』の『2.4.4 ファームウェアを更新する』を参照してください。更新するターゲットは"both" (起動領域と冗長領域の両方を更新するオプション)を設定してください。

### 1.1.1 Ubuntu 24.04 ベース

#### バージョン 3.4.0 (2025/11/21)

amnimo G シリーズ エッジゲートウェイおよび amnimo R シリーズ IoT ルーターを Ubuntu 24.04 の OSS をアップデートしました

##### 対象

- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋外タイプ
- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo X シリーズ センサー接続ゲートウェイ 屋内タイプ

##### バージョンアップ

- Ubuntu パッケージ群 (24.04 20251003)
- Nx Witness (6.0.6.41837)

##### 機能追加

- GUI 機能にネットワーク診断機能を追加しました。
- GUI 機能にダッシュボード画面に稼働時間を追加しました。
- GUI 機能にダッシュボード画面に PoE の利用状況を追加しました。
- スケジュール機能のキープアライブ設定において、ルーティングを切り替える機能を追加しました。
- スケジュール機能のキープアライブ設定において、モバイルと PPP の再接続・切断機能を追加しました。
- 統合デバイス管理機能において、フェイルセーフ機能を追加しました。
- NxWitness のアーカイブデータが破損した場合、データの再インデックス化を行う機能を追加しました。
- GUI 機能においても、DHCP サーバー機能のデフォルトリース期間（クライアント機器からのリース期間要求がない場合のリース期間）を設定できるようにしました。
- GUI 機能のファームウェア更新機能において、差分更新画面にパッケージリポジトリ設定へのリンクを追加しました。

##### 機能改善

- GUI 機能のファームウェア更新機能において工場初期化有効時に SSD の初期化を行う場合、更新に時間がかかることを確認するダイアログを表示するようにしました。
- ファームウェア更新機能の工場初期化オプションにおいて、SSD がある場合は、初期化後にパーティションを作成し、ext4 でフォーマットし、アムニモ設定情報にマウント設定を追加するようにしました。

##### 仕様変更

- GUI 機能の接続ポートの初期値を 80(http)から 443(https)に変更しました。(JC-STAR★1 適合基準番号 S1.1-13 への対応)
- アカウント設定のグループ追加機能の REST-API を無効化無効化しました。
- 通信モジュール異常時に「huh? It's *our* lock file!」が記録しないように変更しました。
- /etc/passwd に登録されているユーザー名はアカウントユーザーに登録できないように仕様を変更しました。また/etc/group に登録されているグループ名はアカウントグループに登録できないように仕様を変更しました。

### 不具合修正

- インターフェイス機能において、dhcp mtu 有効時の mtu の値が設定されない不具合を修正しました。（No.106）
- amctrl の共通オプション -S <LEVEL> を指定すると実行されずに Usage が表示される不具合を修正しました。（No.178）
- amctrl の pc および ai コマンドに共通オプション '-S, --syslog', '-V, --verbose' を指定できない不具合を修正しました。（No.183）
- インターフェイス設定で dns のプライオリティに 8 もしくは 9 を選択すると正しく動作しない不具合を修正しました。（No.184）
- センサー接続ゲートウェイの GUI 機能において、ネットワークのインターフェイス追加設定において、lan1 が選択できない。不具合を修正しました。（No.185）
- センサー接続ゲートウェイのファームウェア更新機能の工場初期化オプションを有効にしても、以下ディレクトリ(sharefs)が初期化されない不具合を修正しました。（No.186）
- GUI 機能において、スケジュール機能のキープアライブ設定の実行前ランダム待ち時間の「3600 秒」の選択肢の表示が「3000 秒」になっている不具合を修正しました。（No.188）
- アカウント機能において、ログイン中のアカウントをユーザーまたは所属しているグループを削除すると失敗するが、元の設定復旧処理が失敗する不具合を修正しました。（No.191）
- アカウント機能において、アカウントのパスワード変更、グループ変更およびパスワード有効期限に失敗した場合、変更エラーとなるが、設定項目から抜けるとセグメンテーションフォルトが発生する問題を修正しました。（No.192）
- アカウント機能において、設定初期化時にアカウントユーザー、アカウントグループの削除に失敗した場合にエラーメッセージが出力されず設定も復旧しない不具合を修正しました。（No.193）
- CLI 機能において ping および traceroute において <DEST_IP_ADDR> の先頭文字に不正な文字（'-'）を指定できる不具合を修正しました。（No.194）
- DHCP サーバ機能において、dns/ntp に auto 指定があるとき、インターフェイス機能で本来は削除できない関連するインターフェイス設定を削除できる不具合を修正しました。（No.195）
- GUI 機能のトラフィック表示機能で、eth0 がない機器で eth0 が選択できる不具合を修正しました。（No.196）
- GUI 機能において、クラウドビデオレコード機能を有効化時に設定ファイルが存在しない場合、GUI 上にエラーが表示されない不具合を修正しました。（No.197）
- IPsec 機能において、バージョン 3.2.0 のアムニモ機器を対向機とした ipsec sa 接続において、3des による接続が確立できない不具合を修正しました。（No.198）
- PoE 機能において、PoE コントローラから変化イベントを受け続けると異常監視機能より機器が再起動する不具合を修正しました。（No.199）
- GUI 機能のストレージ機能でパーティションを初期化する際、パーティションがない状態のストレージに対してデフォルトで入力されているパーティションサイズではパーティション作成ができない不具合を修正しました。（No.200）
- GUI 機能のストレージ機能において、暗号化されているパーティションがマウントされている状態で正しいパスワード設定にしているにもかかわらずストレージ設定から設定登録ができない不具合を修正しました。（No.201）
- GUI 機能のフィルター設定画面において、プロトコルを変更すると設定エラーのダイアログが表示される場合がある不具合を修正しました。（No.202）
- センサー接続ゲートウェイの GUI 機能のダッシュボード画面において、モバイル接続済みのとき SIM アイコンの下に「connected」ラベルが表示されない不具合を修正しました。（No.203）
- プロキシの権限を”show:config:proxy”のみに設定した場合、GUI 機能においてプロキシポートのみの画面が表示されない不具合を修正しました。（No.204）
- zstd パッケージがインストールされている場合、ファームウェア更新を実行しても、ファームウェアが更新されない状態で再起動する不具合を修正しました。（No.205）

全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10_ag20-3.4.0-b73947.amf |
| RT RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10_ar20-3.4.0-b73886.amf |
| AI AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax11_ax21-3.4.0-b73982.amf |
| SN | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax30-3.4.0-b73986.amf |

## 1.1.2 Ubuntu 20.04 ベース

### バージョン 2.7.1 (2025/6/5)

amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプにクラウドビデオレコーダー機能を追加しました。

#### 対象

- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋外タイプ

#### 機能追加

- クラウドビデオレコーダー機能を実装しました。

#### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-2.7.1-b70807.amf |

#### 更新に関する制限事項

本バージョンは全体更新のみの提供となります。(差分更新用の apt パッケージはありません。) 独自でアプリケーションをインストールしてご利用いただいている場合はご注意ください。

### バージョン 2.6.2 (2024/11/19)

不具合修正を実施しました。

#### 対象

- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内/屋外タイプ※
- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋内/屋外タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプ

※AI エッジゲートウェイ屋外タイプは 2024/12/16 にリリースしました。

#### 不具合修正

- デバイス管理システムにより remote.it 設定を行っている場合に remote.it が正常に起動しないことがある不具合を修正しました。(No.137)

#### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax-2.6.2-b66445.amf |
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-2.6.2-b66435.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-2.6.2-b66440.amf |

### 1.1.3 Ubuntu 18.04 ベース

#### バージョン 1.9.9 (2023/12/14)

不具合修正を実施しました。

対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ

機能改善

- 統合ビデオ管理機能において、タイムラプス動画作成/メディアファイル取得フロー/イベント通知フローのアーキテクチャの改善、サムネイル更新フローの改善を実施しました。

不具合修正

- 統合ビデオ管理システム機能において、デバイス再起動後にカメラがオフラインになる不具合を修正しました。（No.101）

全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.9.9-b59060.amf |

#### バージョン 1.9.8 (2023/10/24) ※amnimo R シリーズでは最新の Ubuntu18.04 環境

不具合修正を実施しました。

対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

不具合修正

- ファームウェアの差分更新機能で、パッケージ差分の量が多い場合に、remote.it の差分更新パッケージの段階でエラーが出て、差分更新に失敗する場合がある不具合を修正しました。(No.90)
- デバイス統合管理システム機能において、デバイスを有効化中、デバイス・クラウド間の通信エラーが原因で有効化処理が完了しないことがある不具合を修正しました。(No.91)
- デバイス統合管理システム機能において、remote.it デバイス登録が失敗したにも関わらず、成功と表示されてしまう不具合を修正しました。（No.92）
- 統合ビデオ管理機能において、デバイスの時刻が 5 分以上ずれていると syslog に “panic: runtime error”、“signal SIGSEGV” 等のエラーメッセージが定期的に出力される不具合を修正しました。(No.93)

全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.9.8-b55915.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.9.8-b55920.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.9.8-b55925.amf |

## 1.2 過去のリリース済みのバージョン

### 1.2.1 Ubuntu 24.04 ベース

#### バージョン 3.2.0 (2025/7/31,2025/8/22)

amnimo G シリーズ エッジゲートウェイおよび amnimo R シリーズ IoT ルーターを Ubuntu 24.04 にアップデートしました。

##### 対象

- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋外タイプ
- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo X シリーズ センサー接続ゲートウェイ 屋内タイプ

##### バージョンアップ

- Ubuntu パッケージ群（24.04 20241112）
- Nx Witness (6.0.5.41290)
- GUI 機能
  ダッシュボード画面の追加、簡易設定画面の改善、カテゴリ項目の見直しを行いました。

##### 機能追加

- スケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとしてデバイス統合管理システムデバイス管理システムへの通知処理を設定できるようになりました※。
- スケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとしてモバイルの接続処理・切断処理を設定できるようにしました。
- スケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとして IPsec 再接続処理を設定できるようになりました。
- ファームウェア更新機能に工場初期化オプションを追加しました。(JC-STAR★1 適合基準番号 S1.1-16 への対応)
- DHCP サーバー機能でデフォルトリース期間（クライアント機器からのリース期間要求がない場合のリース期間）を設定できるようにしました。
- デバイス管理システム機能において、D OUT 制御する機能を追加しました。
- IPsec 機能において、プライオリティ機能を追加しました。
- IPsec 機能において、切断時の動作を設定する機能を追加しました。
- クラウドビデオレコーダー機能において PTZ 操作をサポートしました。

##### 機能改善

- 通信モジュールが SIM を認識しない場合にモジュール部分のリセット処理をリカバリー処理として追加しました。
- 起動時の FPGA モジュールの動作チェック処理を追加しました。
- GUI 機能の認証処理において、同一ユーザーが 5 回連続で認証に失敗した場合、5 分間ロックを行う処理を追加しました。(JC-STAR★1 適合基準番号 S1.1-04 への対応)

##### 仕様変更

- 起動処理の設計を一部変更しました。本変更により SSH のログイン可能になるタイミングがアムニモアプリケーションの管理するすべてのアプリの起動後になりました。また起動中の異常時発生において、起動面が確定するタイミングが変わりました。
- CLI 機能において、traceroute 機能の protocol のポート範囲指定オプションの削除をしました。
- ストレージ機能のフォーマット種別で XFS を指定した場合、バージョン 3.0.0 以降はパーティションの最小サイズが 300Mbyte に増量したため、300Mbyte より小さいパーティションを指定した場合にエラーを表示するように変更しました。

- ストレージ機能のマウント先に相対パスを設定できないように変更しました。
- 起動中処理でフェイルセーフ機能処理が動作し再起動する状態になった場合、起動完了後に再起動するように変更しました。
- traceroute の DEST_IP_ADDR(送信先アドレス) は IP アドレスまたは FQDN を指定可能, SRC_IP_ADDR(送信元アドレス) は送信元 IP アドレスのみ指定可能に変更しました。
- PPP 機能において、他の PPP インターフェイスで設定済みのピア名は設定できないように変更しました。
- 設定保存機能において、設定ファイルに機種情報を追加し、異なる機種への誤った設定保存を防止するエラーチェック機能を実装しました。
- ファームウェアのスナップショット生成機能において、屋内版 IoT ルーター、屋外版 IoT ルーターで生成したスナップショットがどちらのデバイスにもインストール可能になりました。
- IPsec の local id または remote id 設定において、使用可能な文字列の仕様を変更しました。

| 設定 | 仕様 |
|---|---|
| fqdn | ● 最大文字数は 253 文字で、RFC1035 で規定されている<subdomain>が使用可能です。<br>● <label>の先頭文字として数字を許容し、トップレベルドメインに使用可能な文字種は<letter>のみとします。 |
| userfqdn | ● 最大文字数は 254 文字、<local-part>は最大 64 文字で、使用可能な文字種は RFC5322 で規定されている<local-part>が使用可能です。<br>● 改行を表現する文字列 "¥r" (0x5C 0x72) および "¥n" (0x5C 0x6E)と、空白 (0x20) および タブ文字(0x09) は使用できません。<domain>に使用可能な文字列は fqdn と同様です。 |

- タイムゾーンの選択可能なオプションを以下に限定しました。

| 仕様 |
|---|
| ● Asia/Tokyo<br>● UTC<br>● GMT/GMT-14～GMT+12, GMT(GMT0,GMT-0,GMT+0 は設定不可) |

## 不具合修正

- インターフェイス機能において、リンクモードを設定すると、リンクモードがインターフェイスに正しく反映されない問題が発生することがある不具合を修正しました。(No.136)
- 初期設定による起動において、起動後ログインしない状態で再起動しても、設定が初期化される不具合を修正しました。 (No.139)
- フェイルセーフ機能においてハードウェアリブート実行時のログが SYSLOG に記録されない不具合を修正しました。 (No.144)
- USB メモリパーティションのフォーマット type を XFS に指定すると設定ができない場合がある不具合を修正しました。 (No.145)
- ファームウェアのバージョン表示機能において、起動エリア情報が表示されない不具合を修正しました。(No.146)
- DHCP クライアントが NTP サーバアドレス変更に追従しない場合がある不具合を修正しました。(No.148)
- ファームウェアスナップショット生成機能において、スナップショットの生成中に 3 時間以上経過すると再起動され、スナップショットが生成できない不具合を修正しました。(No.150)
- CLI 機能において、破損した XFS フォーマットしたパーティションを修復する場合、修復失敗の場合も成功と表示していた不具合を修正しました。 (No.151)
- 他デバイスの設定の移行時に、ストレージの SSD 暗号化の設定が含まれた設定ファイルを暗号化していない SSD を搭載している別デバイスに設定を読み込んだ場合、正常にマウントしたように見えるが、実際はマウントが失敗する不具合を修正しました※。 (No.152)

※本修正により、正常にマウント処理が完了せず、フェイルセーフ処理に従って機器再起動を繰り返すようになります。したがってこのような場合は、SSD 暗号化の設定を削除するか、同じ暗号化ストレージを移行先にデバイスにあらかじめ作成してください。

- フィルター設定のコントラックルールを適用した場合、デバイス管理システムや統合ビデオ管理システムとの接続中に、LAN 機器の切断・接続が起きると一定時間システムと接続不能(最大 10 分)になる不具

合を修正しました。(No.153)

- ファームウェア更新機能において、URL 指定でファイルダウンロード時にプログレスバーが更新されない不具合を修正しました。(No.154)
- ファームウェア更新機能において、URL 指定でファイルダウンロード開始直後（進捗率 0%）にキャンセルボタンを押すと通信エラーが発生する不具合を修正しました。(No.155)
- 時刻設定時に“cannot set hwclock date.”が発生する不具合を修正しました。(No.156)
- 短時間に複数回サービス起動をするコマンドが繰り返された場合にエラーになる場合がある不具合を修正しました。(No.157)
- CLI 機能において、管理者モードでフィルター機能の show config で確認した場合、出力に configure や exit が含まれていない不具合を修正しました。(No.158)
- 機器起動時にしきい値以上の温度であった場合に高低温保護動作が作動しない不具合を修正しました。(No.159)
- DHCP サーバーから相手機器の DHCP クライアントに配布された設定値どおりに設定・変更されない不具合を修正しました。(No.160)
- 瞬電後に PoE が復旧しないことがある不具合を修正しました。(No.162)
- デバイス管理システムのテナント操作でソフトウェアリブートを実行した際に、機器にリセットが入らずそのまま動き続けることがある不具合を修正しました。(No.163)
- USB デバイスをリセットするコマンドにおいて、10 分以降に遅延リセットする設定をしても、10 分以内に再起動される不具合を修正しました。(No.164)
- ファームウェア更新機能において種類が異なる機器（Ex. AI エッジゲートウェイに対してセンサー接続ゲートウェイ）にインストールが可能になっている不具合を修正しました。(No.165)
- amlog 機能のデータが異常な状態である場合、セグメンテーションフォルトが発生する不具合を修正しました。(No.166)
- ストレージ機能において、マウントポイントに 2 段以上の深さのサブディレクトリ(例：/mnt/ssd/video/recording)を指定した場合、エラーが発生する不具合を修正しました。(No.167)
- CLI 機能において、スケジュール機能のキープアライブ設定のアクションに”reconnect ipsec”または“dms-alert”を設定すると、GUI 機能において、スケジュール機能のキープアライブ設定のアクションの内容が正しく表示しない不具合を修正しました。(No.168)
- スケジュール機能のキープアライブ設定の ping の宛先やネットワーク状態確認コマンドの traceroute および ping でドメイン名として指定できないパターンがある不具合を修正しました。（No.169）
- 屋内タイプエッジゲートウェイに関して瞬断判定処理の不正により、個体により瞬断が頻繁に発生する不具合を修正しました。（No.170）
- モバイル回線接続処理に失敗するケースで IP アドレス取得異常、モバイルインタフェース異常が含まれていないため、フェイルセーフ処理が実行されない不具合を修正しました。(No.172)
- dms-alert のアクションを実行した時にスケジュール機能の動作状況が更新されていない不具合を修正しました。(No.174)
- DHCP サーバーから配布される NTP サーバーリストが更新できていない場合がある不具合を修正しました。（No.175）
- 屋外タイプエッジゲートウェイに関して RS485 シリアル通信において、通信速度が 2400bps かつ高低温保護制御の温度ポーリング間隔がデフォルトの 1000 ミリ秒より早い値（例.100 ミリ秒）に設定された場合、または送信前後の RTS 遅延時間が設定されている場合に、送信を繰り返すと高低温保護制御の温度取得に失敗することがある不具合を修正しました。(No.176)
- 温度センサーの誤検知（スパイク検知※）による高温検知(125°C)が発生した場合に高低温保護制御が実行される不具合を修正しました。(No.177)

※ 温度データ取得のポーリング処理において前回値からの急激な温度変化の検知

- IPsec 機能において IKE を共有している複数の SA の接続が存在する状況で、一方の SA に対して CLI コマンドやスケジュールからの切断動作を行った場合、他の SA も切断してしまう不具合を修正しました。(No.180)
- 統合ビデオ管理システムの利用時に CPU の使用率が 100%を超える場合がある不具合を修正しました。(No.181)
- 統合ビデオ管理システムの Direct モードでのライブ再生時に音声が再生されない場合がある不具合を修正しました。(No.182)
- RS232/RS485 の 偶数パリティを利用した通信ができない不具合を修正しました。(No.190)

全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10_ag20-3.2.0-b72143.amf |
| RT RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10_ar20-3.2.0-b72136.amf |
| AI AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax11_ax21-3.2.0-b72235.amf |
| SN | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax30-3.2.0-b72238.amf |

## バージョン 3.1.0 (2025/6/19)

amnimo X シリーズ AI ゲートウェイを Ubuntu 24.04 にアップデートしました。

### 対象

- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋外タイプ

### バージョンアップ

- Ubuntu パッケージ群（24.04 20240111）
- Nx Witness (6.0.2.40414)

### 機能追加

- CLI 機能のスケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとしてデバイス統合管理システムデバイス管理システムへの通知処理を設定できるようになりました※。
- CLI 機能のスケジュール機能において、キープアライブ設定のアクションとして IPsec 再接続処理を設定できるようになりました※。

※GUI 機能では利用できず、正常に設定が反映されません。次回リリースで GUI 機能でも利用可能になる予定です。

- ファームウェア更新機能に工場初期化オプションを追加しました。(JC-STAR★1 適合基準番号 S1.1-16 への対応)
- DHCP サーバー機能でデフォルトリース期間（クライアント機器からのリース期間要求がない場合のリース期間）を設定できるようにしました。
- デバイス管理システム機能において、D OUT 制御する機能を追加しました。
- IPsec 機能において、プライオリティ機能を追加しました。

### 機能改善

- 通信モジュールが SIM を認識しない場合にモジュール部分のリセット処理をリカバリー処理として追加しました。

### 仕様変更

- CLI 機能において、traceroute 機能の protocol のポート範囲指定オプションの削除をしました。
- ストレージ機能のフォーマット種別で XFS を指定した場合、バージョン 3.0.0 以降はパーティションの最小サイズが 300Mbyte に増量したため、300Mbyte より小さいパーティションを指定した場合にエラーを表示するように変更しました。
- ストレージ機能のマウント先に相対パスを設定できないように変更しました。
- 起動処理の設計を一部変更しました。本変更により SSH のログイン可能になるタイミングがアムニモアプリケーションの管理するすべてのアプリの起動後になりました。また起動中の異常時発生において、起動面が確定するタイミングが変わりました。

### 不具合修正

- インターフェイス機能において、リンクモードを設定すると、リンクモードがインターフェイスに正しく反映されない問題が発生することがある不具合を修正しました。(No.136)
- 初期設定による起動において、起動後ログインしない状態で再起動しても、設定が初期化される不具合を修正しました。（No.139）
- フェイルセーフ機能においてハードウェアリブート実行時のログが SYSLOG に記録されない不具合を修正しました。（No.144）
- CLI 機能において、破損した XFS フォーマットしたパーティションを修復する場合、修復失敗の場合も成功と表示していた不具合を修正しました。（No.151）
- 他デバイスの設定の移行時に、ストレージの SSD 暗号化の設定が含まれた設定ファイルを暗号化していない SSD を搭載している別デバイスに設定を読み込んだ場合、正常にマウントしたように見えるが、実際はマウントが失敗する不具合を修正しました。（No.152）

※本修正により、正常にマウント処理が完了せず、フェイルセーフ処理に従って機器再起動を繰り返すようになります。したがってこのような場合は、SSD 暗号化の設定を削除するか、同じ暗号化ストレージを移行先にデバイスにあらかじめ作成してください。

- CLI 機能において、管理者モードでフィルター機能の show config で確認した場合、出力に configure や

exit が含まれていない。(No.158)
- 機器起動時にしきい値以上の温度であった場合に高低温保護動作が作動しない。(No.159)
- DHCP サーバーから相手機器の DHCP クライアントに配布された設定値どおりに設定・変更されない。(No.160)
- show config 実行時に、モバイル情報を取得できない場合、エラー内容を含めて表示する。（show config の結果をそのままコピー＆ペーストで機器の設定として利用できない。）。(No.161)
- 瞬電後に PoE が復旧しないことがある。（No.162)
- ファームウェア更新機能において種類が異なる機器（Ex. AI エッジゲートウェイに対してセンサー接続ゲートウェイ）にインストールが可能になっている不具合を修正しました。（No.165)
- ストレージ機能において、マウントポイントに 2 段以上の深さのサブディレクトリ(例：/mnt/ssd/video/recording)を指定した場合、エラーが発生する。(No.167)
- 統合ビデオ管理システムの利用時に CPU の使用率が 100%を超える場合がある不具合を修正しました。(No.181)
- 統合ビデオ管理システムの Direct モードでのライブ再生時に音声が再生されない場合がある不具合を修正しました。(No.182)

## 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| AI AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax11_ax21-3.1.0-b71172.amf |

### バージョン 3.0.0 (2025/5/15)

amnimo X シリーズ センサー接続ゲートウェイ 屋内タイプをリリースしました。

#### 対象

- amnimo X シリーズ センサー接続ゲートウェイ 屋内タイプ

#### バージョンアップ※

- Ubuntu パッケージ群 (24.04 20240111)

※従来製品のファームウェアとの差分となります。

#### 機能追加※

- amnimo VMS 機能を追加しました。
- CLI 機能と GUI 機能におけるモバイル通信状態表示機能の表示パラメータに通信継続時間を追加しました。

#### 機能改善

- 通信モジュールが SIM を認識しない場合にモジュール部分のリセット処理をリカバリー処理として追加しました。

#### 仕様変更

- ストレージ機能のマウントパスの設定において、相対パスを設定できないように変更しました。
- GUI 機能において、モバイル通信のキャリア一覧に言語を英語に変更した場合、海外の通信キャリアを一覧に追加するように変更しました。
- GUI 機能において、静的ルーティングの設定方法で、ゲートウェイアドレスとインターフェイスを同時に設定できるように変更しました。
- GUI 機能において、IPsec 機能のリモートサブネット、ローカルサブネットを複数設定できるように変更しました。
- GUI 機能において、「設定ファイル」の名称を「アムニモ設定情報」に変更しました。
- CLI 機能において、コマンド履歴の件数を 8 件から 50 件に変更しました。
- 起動処理の設計を一部変更しました。本変更により SSH のログイン可能になるタイミングがアムニモアプリケーションの管理するすべてのアプリの起動後になりました。また起動中の異常時発生において、起動面が確定するタイミングが変わりました。

#### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax30-3.0.0-b70089.amf |

## 1.2.2 Ubuntu 20.04 ベース

### バージョン 2.7.0 (2025/3/7)

amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプにクラウドビデオレコーダー機能を追加しました。

#### 対象

- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプ

#### 機能追加

- クラウドビデオレコーダー機能を実装しました。

### 修正

- 通信モジュール非搭載 IoT ルーターの場合、show config 実行時、モバイル情報が取得できないため、エラーが表示される不具合を修正しました。(No.138) RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-2.7.0-b69335.amf |

## バージョン 2.6.0 (2024/8/19)

バージョンアップ、機能追加、機能改善、仕様変更、不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内/屋外タイプ※
- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋内/屋外タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプ

※AI エッジゲートウェイ屋外タイプは 2024/12/16 にリリースしました。

### バージョンアップ

- remote.it (4.0.9) AI GW RT GW

### 機能追加

- NAT/フィルター機能のパケット合致条件の MAC アドレス設定にマスク設定を追加しました。AI GW RT GW
- GUI 機能において、設定変更後に設定が未保存である場合、その状態を GUI に表示するようにしました。AI GW RT GW
- GUI 機能において、アムニモ診断情報機能を追加しました。AI GW RT GW
- GUI 機能において、VMS 設定機能を追加しました。AI GW GW

### 機能改善

- PPP サーバーに接続していない場合に PPP 設定の無効や削除をした際の PPP サービス停止の処理時間を短縮しました。AI GW RT GW
- NTP サーバーの起動や停止にかかる処理時間を短縮しました。AI GW RT GW

### 仕様変更

- スケジュール機能において、スケジュールタイプが keep-alive の場合、ping 送信元インターフェイスを設定できるようにしました。AI GW RT GW
- スケジュール機能において、スケジュールタイプが keep-alive の場合、フェイルセーフのリトライ設定をできるようにしました。AI GW RT GW
- スケジュール機能において、スケジュールタイプが general-control の場合、フェイルセーフ設定を削除しました。AI GW RT GW
- DNS サーバー機能において、IPv6 クエリを発行しないように変更しました。AI GW RT GW
- CLI 機能において、NTP サーバーの NTP ソースを表示する処理において、IPv6 のアドレスが表示されないように変更しました。AI GW RT GW
- GUI 機能において、GUI の時刻設定で入力する日時の値を PC 時刻のタイムゾーンでなく、デバイス時刻のタイムゾーンとして設定するように変更しました。AI GW RT GW
- GUI 機能おいて、設定ファイルのダウンロード時、保存されている設定ファイル(startup-config)ではなく、現在動作中の設定ファイル(config.yaml)が取得できるように変更しました。AI GW RT GW
- ホスト名設定機能において、ホスト名に'.'(ドット)を利用できないように変更しました。(RFC1123 準拠) AI GW RT GW

### 不具合修正

- インターフェイス無効化時に NTP 起動させて、インターフェイス有効化させると ntp.nict.jp を IPv6 アドレスで表示する場合がある不具合を修正しました。(No.108) AI GW RT GW
- NTP 機能において、sync-interface に設定されていないインターフェイス機能のリンクアップ時に NTP サーバーが再起動される。(No.109) AI GW RT GW
- GUI 機能において、パーティション作成を中断した後に再度パーティション作成を行うとエラーが発生する。(No.110) AI GW GW
- DHCP サーバーのフェイルセーフが有効状態から無効化された後、10 分経過するとアムニモの監視アプリ機器が再起動する不具合を修正しました。(No.111) AI GW RT GW
- デバイス管理システム機能において有効化中のデバイスを設定初期化した後に、デバイス管理システムのターミナル機能から SSH 接続を試行するとその後、当該機能からの SSH 接続に失敗する不具合を修正しました。(No.115) AI GW RT GW

- ファームウェアスナップショット機能で生成されるファームウェアイメージにで、デバイス管理システム機能で利用するデバイス証明書が/var/lib/amnimo-ecc 配下に保存され、これらのファイルを除外対象としない場合、スナップショット機能で生成されたファームウェアを使ってファームアップされた機器は同じデバイス証明書を保持してしまう不具合を修正しました。(No.116)
- サービス起動処理が異常終了した場合に、フェイルセーフ機能が動作しない不具合を修正しました。(No.117)
- モバイルモジュール機能において、rat service による 3G 固定や 4G 固定の設定機能が動作しない不具合を修正しました。(No.118)
- イーサネットポートがリンクダウンした場合、IP アドレスが削除される不具合を修正しました。(No.119)
- NAT/フィルターの設定処理が失敗する場合がある不具合を修正しました。(No.120)
- パケットキャプチャ機能において、インターフェイスとしては UP している状態ではあるが、IP アドレスが付与されていない場合にパケットキャプチャを実行するとエラーとなる不具合を修正しました。(No.121)
- PMTU 設定が設定しているインターフェイスに限らず、すべてのインターフェイスに反映している不具合を修正しました。(No.122)
- スケジュール機能において、general-control 設定のアクションでモバイルや PPP の接続を行う場合、関連する接続設定を変更しても、変更が反映されない不具合を修正しました。(No.123)
- モバイル接続で手動接続の場合、通信モジュールの機能に関わる変更がある差分更新を行うと通信モジュールの制御プロセスが再起動する不具合を修正しました。(No.124)
- GUI 機能のストレージ設定において、パーティション作成を中断した後に再度パーティション作成を行うとエラーが発生する。(No.125)
- スケジュール機能において、PPP が手動接続されている場合、general-control で PPP 切断のアクションを設定しても、PPP 切断後、再接続してしまう。(No.126)
- syslog の message ファイルのローテート時に付与されるファイル番号が連番になっていない場合がある。(No.127)
- GUI 機能の NX Witness 設定において、設定保存や設定復帰時にエラーが発生した際、HTTP サーバーの 500 エラー、530 エラーが発生する場合がある不具合を修正しました。エラー発生時は、以下のようにダイアログにエラー内容を表示します。(No.128)

| エラーケース | 表示ダイアログ |
|---|---|
| 設定保存ボタンを押下した際に、入力したパスワードが不一致の場合またはパスワードが未設定の場合 | Nx Witness のパスワードが間違っています。 |
| 設定復帰ボタンを押下した際に、ローカルのデータベースファイルが存在しない場合 | Nx Witness データベースのバックアップファイルが存在しません。 |

- NTP 機能において、sync-interface に設定されていないインターフェイスがリンクアップした場合に NTP サーバーが再起動する不具合を修正しました。(No.129)
- ファームウェアスナップショット生成機能でエラーが表示される不具合を修正しました。(No.130)
- デバイス統合管理システムで USB ポートに対するアクション（ON,OFF,リセット）が実行できない不具合を修正しました。(No.131)
- NTP 機能において、ecm0 のインターフェイス機能を先に設定した状態で、sync-interface を設定すると、定期的な NTP の同期パケットが出力されない不具合を修正しました。(No.132)

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| AI / AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax-2.6.0-b64505.amf |
| GW / GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-2.6.0-b64501.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-2.6.0-b64497.amf |

## バージョン 2.4.3 (2024/6/5)

機能追加を実施しました。

### 対象

- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋内/屋外タイプ

※amnimo R シリーズ IoT ルーター屋内/屋外タイプは対象外です。

### 機能追加

- amnimo VMS 機能において PTZ 制御機能を追加しました。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax-2.4.3-b63277.amf |
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-2.4.3-b63272.amf |

## バージョン 2.4.2 (2024/4/1)

バージョンアップ、機能追加、仕様変更、不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ エッジゲートウェイ 屋内/屋外タイプ
- amnimo R シリーズ IoT ルーター 屋内タイプ

### バージョンアップ※

- Ubuntu パッケージ群 (20.04 20240111) GW RT GW

※AI エッジゲートウェイは V2.4.1 から変更はありません。

### 機能追加

- amnimo VMS 機能を追加しました。 GW RT GW
- CLI 機能と GUI 機能におけるモバイル通信状態表示機能の表示パラメータに通信継続時間を追加しました。 GW RT GW
- GUI 機能においてスケジュール設定機能にユーザー定義設定(user-define)を追加しました。 AI GW RT GW

### 仕様変更

- プロキシ ARP のデフォルト値を無効に変更しました。 GW RT GW
- スケジュール機能において、general-control 設定のアクションに disconnect アクション(PPP/モバイル)を設定し、各アクションの接続方法が常時接続「always」になっている場合は、再接続を行うように変更しました。 GW RT GW

### 不具合修正

- 統合ビデオ管理システム機能において、PTZ 操作ができない不具合を修正しました。(No.98) GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能において、タイムラインバー上に表示される期間内に 1000 件以上のモーション検知があった場合、検索結果の一部が表示されない不具合を修正しました。(No.100) GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能において、デバイス再起動後にカメラがオフラインになる不具合を修正しました。(No.101) GW GW
- CLI 機能において、show config コマンドで account に関する設定が表示されない不具合を修正しました。 (No.102) GW RT GW
- GUI 機能において、詳細設定から PPP の設定を削除しても PPP サービスが停止しない不具合を修正しました。 (No.103) GW RT GW
- モバイル設定を変更した際に SIM failure 状態で通信モジュールがハングアップする場合がある不具合を修正しました。 (No.104) GW RT GW
- amlog 機能において、amlog show コマンド や amlog read コマンド を行うと全ログが表示する場合がある不具合を修正しました。 (No.105) AI GW RT GW
- インターフェイス機能において、1 つのインターフェイスに複数の IP アドレスが設定されている場合に、インターフェイス機能の設定変更時に設定処理を失敗し、ルーティング情報が消失する場合がある不具合を修正しました。(No.112) AI GW RT GW

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax-2.4.2-b62175.amf |
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-2.4.2-b62171.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-2.4.2-b62167.amf |

## バージョン 2.4.1 (2024/3/15)

amnimo X シリーズ　AI エッジゲートウェイ 屋内タイプをリリースしました。

### 対象

- amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイ 屋内タイプ

### バージョンアップ※

- Ubuntu パッケージ群（20.04 20240111）

※従来製品のファームウェアとの差分となります。

### 機能追加※

- amnimo VMS 機能を追加しました。
- CLI 機能と GUI 機能におけるモバイル通信状態表示機能の表示パラメータに通信継続時間を追加しました。

※従来製品のファームウェアとの差分となります。

### 仕様変更※

- プロキシ ARP のデフォルト値を無効に変更しました。
- スケジュール機能において、general-control 設定のアクションに disconnect アクション(PPP/モバイル)を設定し、各アクションの接続方法が常時接続「always」になっている場合は、再接続を行うように変更しました。

※従来製品のファームウェアとの差分となります。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| AI | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ax-2.4.1-b61483.amf |

## バージョン 2.1.0 (2023/11/7, 2023/11/27)

Ubuntu 20.04 ベース環境にアップデートしました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内/屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ[※1]

※1 屋外対応の Ubuntu20.04 版ファームウェアは今後のアップデートで対応予定です。

### バージョンアップ

- Ubuntu パッケージ群 (20.04 20230417) GW RT GW RT
- Nx Witness (5.1.1.37512) GW GW
- remote.it (3.0.34) GW RT GW RT

### 機能追加

- スケジュール機能のスケジュールタイプ「general-control」において、ランダム実行待ち時間設定と起動経過時間設定によるソフトウェアリブート、ハードウェアリブートを実行できる機能を追加しました。GW RT GW RT
- ストレージのフォーマット情報を表示するコマンド(show device storage format)を追加しました。GW GW

### 仕様変更

- amnimo G シリーズにおいて、インターフェイス機能の MTU 設定の最大値を 9676 から 9668 に変更しました。GW GW
- インターフェイスが無効の場合でも、関連する DHCP サーバーを設定できるように変更しました。[※2] GW RT GW RT

※2 インターフェイスが無効な場合、関連する DHCP サーバーは起動できません。

- アカウント機能において、アカウント名、グループ名に半角数字のみ文字列は指定できないように変更しました。[※3] GW RT GW RT

※3 バージョン 1.x.x 系で半角数字のみの文字列を指定していた場合、本バージョン以降にバージョンアップすると、当該ユーザー、グループは利用できず、正常に起動しません。Ubuntu 20.04 の制限事項となります。

- ネットワーク管理ソフトウェアを netplan からアムニモソフトウェアと Quagga に変更しました。GW RT GW RT
- CLI 機能において、インターフェイス機能の「optional」設定項目を削除しました。設定としては、起動時に対象インターフェイスのリンクアップを待ちません。(optional は有効設定として固定されます。) GW RT GW RT
- インターフェイス機能およびルーティング機能において、メトリック値の設定範囲を、「0～255」から「1～254」に変更しました。バージョン 1.x.x 系で 0 または 255 に設定していた場合は、本バージョン以降にバージョンアップすると、それぞれ 1,254 に置き換えられます。GW RT GW RT

### 不具合修正

- CLI 機能に関して、ブリッジインターフェイスで有効化し、当該ブリッジで DHCP 機能のサービスを起動し、その後ブリッジインターフェイスを無効にした場合、当該ブリッジの DHCP 機能の設定ができなくなる不具合を修正しました。(No.6)
- ブリッジインターフェイスを作成し、設定を保存しない状態で再起動しても、ブリッジインターフェイスが残る不具合を修正しました。(No.14)
- イーサネットポートがリンクアップしていない状態で起動すると、起動に時間が 2 分以上かかる場合がある不具合を修正しました。 (No.81)
- CLI 機能に関して、管理者モードとユーザーモードのコマンド履歴が共通になっている不具合を修正しました。(No.94)
- GUI 機能に関して、簡易設定画面においてインターフェイス eth0 の設定が反映されない不具合を修正しました。(No.95)
- 低電圧検出状態に応じて変化をフックする処理や関連するログが出力する処理が動作していない不具合を修正しました。(No.96)

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-2.1.0-b57059.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-2.1.0-b58251.amf |

### 更新に関する制限事項

Ubuntu18.04 ベース(バージョン 1.x.x)環境からの差分更新(do-release-upgrade 相当)には対応しておりません。Ubuntu18.04 ベース環境からの更新は、全体更新※にて実施してください。

※『エッジゲートウェイ CLI ユーザーズマニュアル』の『2.4.4 ファームウェアを更新する』を参照してください。

### 1.2.3 Ubuntu 18.04 ベース

#### バージョン 1.9.7 (2023/9/29)

不具合修正を実施しました。

対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

不具合修正

- 電源起動時 remote.it が正常に起動しない場合がある不具合を修正しました。(No.89)

全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW -GW- | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.9.7-b53876.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.9.7-b53896.amf |
| -RT- | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.9.7-b53906.amf |

## バージョン 1.9.6 (2023/8/9)

機能改善を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善

- 統合ビデオ管理システム機能において、サムネイル更新・カメラステータス通知の機能の設計実装を見直し、可用性を改善しました。
- 温度センサー、電圧センサーの情報を取得するための A/D コンバータ制御ドライバのアップデートを行いました。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.9.6-b52324.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.9.6-b52315.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.9.6-b52303.amf |

## バージョン 1.9.5 (2023/7/24)

一部アプリのバージョンアップを実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### バージョンアップ

- remote.it (3.0.33)

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.9.5-b51399.amf |
| | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.9.5-b51403.amf |
| | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.9.5-b51405.amf |

remote it 3.0.33 を利用する際に制限事項があります。

➔ 詳細については「2.7 remote.it 3.0.33 を利用する際の制限事項について」をご確認ください。

## バージョン 1.9.4 (2023/6/1)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善・不具合修正

- デバイス管理システムにおいて、クラウド側からファームアップの全体更新を実施時に、成功したにもかかわらず必ずエラーになってしまう問題を修正しました。(No.87)
- デバイス管理システムにおいて、エッジ側でデバイス管理システムのサービスを service dms stop コマンドで停止した場合、タイムアウトやエラーになることがある問題を修正しました。(No.88)
- 通信モジュール制御プログラムのスレッド監視機能を強化しました。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.9.4-b44769.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.9.4-b44775.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.9.4-b44794.amf |

## バージョン 1.9.2 (2023/5/11)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能追加

- DHCP サーバーのフェイルセーフ機能を追加しました。(CLI のみ)
- 統合ビデオ管理システム機能において、音声出力機能を追加しました。
- デバイス管理システムにおいて、一括ダウンロード機能（ベータ版）を追加しました。

### 機能改善・不具合修正

- GUI 機能に関して、モバイルモジュール情報を更新ボタンで更新する際、SIM1 側の情報が更新されない問題を修正しました。（No.83）
- デバイス管理システムにおいて、フェイルセーフ機能のキープアライブのタイミングを改善しました。
- 統合ビデオ管理システム機能において、スマートサーチで多数のモーション検知があった場合にタイムラインバーに表示されない不具合を修正しました。（No.84）
- 統合ビデオ管理システム機能において、マルチバイト文字を含む名前のカメラを検出できない不具合を修正しました。（No.85）
- 統合ビデオ管理システム機能において、稀に VMS 認証情報が保存されない不具合を修正しました。（No.86）

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW / GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.9.2-b43499.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.9.2-b43540.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.9.2-b43527.amf |

## バージョン 1.8.4 (2023/4/5)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善・不具合修正

- イーサネットポートの再接続、モバイル回線の再接続、PPPoE の再接続により、DNS オプション（接続先より配信された DHCP オプションセットの DNS サーバーの IP アドレスを使用する）が有効でない場合も、DNS サーバーを再起動する問題を修正しました。（以下、詳細仕様）（No.80）

| 再接続インターフェイス | DNS サーバー再起動条件 |
|---|---|
| イーサネットポート | DHCP クライアント設定が有効で、かつ DNS オプションが有効 |
| モバイル回線 | モバイル回線が有効で、かつ DNS オプションが有効 |
| PPPoE 回線 | PPPoE が有効で、かつ DNS オプションが有効 |

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.8.4-b40075.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.8.4-b40078.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.8.4-b40102.amf |

## バージョン 1.8.3 (2023/2/10)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善・不具合修正

- CLI 機能および GUI 機能に関して、モバイル通信設定(peer)およびセッション設定(session)を行った後、モバイル通信機能を停止する場合に、モバイル通信設定のセッション設定の削除を行うと、機器情報画面でエラーが発生する不具合を修正しました。(No.77)
- プロキシ機能の FQDN ブラックリスト制御の FQDN 設定を行うと、意図せず URL ホワイトリスト制御が有効になる不具合を修正しました。(No.78)
- モバイル回線や PPPoE 等の回線切断、接続等によるルーティング変更時に、パケット通信が前回のコネクション追跡のルールが維持され、意図した経路で通信できない状態になる不具合を修正しました。(No.79)

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.8.3-b36400.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.8.3-b36438.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.8.3-b36426.amf |

## バージョン 1.8.2 (2023/1/13)

機能追加と不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### バージョンアップ

- Ubuntu パッケージ群(18.04 20221130) GW RT GW RT

### 機能追加

- DNS 機能に別名定義設定を追加 GW RT GW RT
- IPsec 機能にパススルー設定を追加 GW RT GW RT
- DHCP リレー機能の追加 GW RT GW RT
- プロキシサーバー機能の追加 GW RT GW RT
- アカウントのグループ権限設定機能を追加 GW RT GW RT
- デバイス管理システムからコマンドライン入力が可能なターミナル機能をサポート。GW RT GW RT
- 統合ビデオ管理システム機能において、Direct モードで音声入力が有効なカメラからの音声を再生する機能を追加。GW GW

### 機能改善・不具合修正

- CLI 機能に関して、パケットダンプ機能において、インターフェイスを指定しない場合、意図しないインターフェイスが選択される不具合について、必ずインターフェイスを指定する仕様に変更しました。(No.30) GW RT GW RT
- タイムゾーンを変更後、機器を再起動するまでスケジュール機能に変更が反映されない不具合を修正しました。(No.57) GW RT GW RT
- CLI 機能に関して、IPsec 機能の IKE の事前共有鍵設定の文字列が、「pre-shard-key」となっている不具合を修正しました。(本来であれば、「pre-shared-key」) (No.71) GW RT GW RT
- バージョン 1.6.1 未満のファームウェアから 1.6.1 に差分更新すると、ブートエリアが変わる不具合を修正しました。(No.75) GW RT GW RT
- 統合ビデオ管理システム機能において、クラウドとエッジゲートウェイ間の IoT 通信が予期せず切断された後通信が復旧せず、サムネイル更新やクリップ取得、ライブ再生などが動作しなくなる不具合を修正しました。(No.76) GW GW

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.8.2-b35486.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.8.2-b35492.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.8.2-b35504.amf |

## バージョン 1.6.1 (2022/11/15)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善・不具合修正

- IPsec 経路上に IPsec の終端ではないエッジゲートウェイまたは IoT ルーターを設置した場合、IPsec のパケットが通ると機器が再起動する不具合を修正しました。(No.72)
- エッジゲートウェイ起動時に Nx Witness 5.0.0.35270 の設定データのロードに失敗する場合がある不具合を修正しました。(No.73)
- 冗長領域の切り替え条件である電源起動時のエッジゲートウェイの管理アプリケーションが正常起動と判定する段階を initramfs 終了時から rc.local 終了時に変更。(No.74)

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.6.1-b32332.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.6.1-b32335.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.6.1-b32337.amf |

## バージョン 1.6.0 (2022/10/18)

一部ソフトのバージョンアップと不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### バージョンアップ

- Nx Witness(5.0.0.35270)※ GW GW

### 機能改善・不具合修正

- 通信モジュールを電源リセットすると、稀に rcu_preempt がストールを検出し内部通信エラーが発生し、再起動する不具合を修正しました。(No.1) GW RT GW RT
- 無通信監視タイマーを有効にした状態で通信キャリアの認証エラー状態が継続すると、回線切断処理後、プログラムが停止せず、機器が再起動する不具合を修正しました。 (No.66) GW RT GW RT
- 統合ビデオ管理システム機能でパナソニック製カメラ WV-S3510 のダイレクトモードでの VOD 再生において高速再生が機能しない不具合を修正しました。(No.67) GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能でエッジデバイスとクラウドの時間が 5 分以上ずれているためにダイレクトモード接続が失敗した場合、エラーメセージを表示するように改善しました。(No.68) GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能でダイレクトモードの映像再生、VOD 再生、Smart Search 結果のスキップ再生のパフォーマンスを改善しました。(No.69) GW GW

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.6.0-b29027.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.6.0-b29036.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.6.0-b29045.amf |

※Nx Witness 5.0.0.35270 を利用する際に制限事項があります。
➔ 詳細については「2.6 Nx Witness 5.0.0.35270 を利用する際の制限事項について」をご確認ください。

## バージョン 1.5.3 (2022/7/28)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善・不具合修正

- モバイル制御機能において MSISDN 保有の SIM カードから MSISDN を取得できない場合がある問題を修正しました。(V1.5.0～V1.5.2)

### 更新に関する制限事項

本バージョンは差分更新のみの提供となります。(全体更新用のファームウェアはありません。)
冗長エリア側もご利用の際は差分更新後、firmware area sync コマンド※を利用し、冗長エリア側へ同期するようにお願いします。

※『エッジゲートウェイ CLI ユーザーズマニュアル』の『2.4.5 ファームウェアの冗長エリアを同期する』を参照してください。

## バージョン 1.5.2 (2022/7/15)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### バージョンアップ

- remote.it (1.8.8)

### 機能改善・不具合修正

- 統合ビデオ管理システム機能でダイレクトモードによるライブ再生中、再生時間が 1970/01/01 00:00:00 となる場合がある問題を修正しました。
- デバイス管理システムでエッジデバイス側が 60 分以上クラウド側の時刻より進んでいる場合、ファームウェア全面更新、syslog の収集、設定ファイルの収集・ダウンロードが失敗する問題を修正しました。
- モバイル制御機能において無通信検知機能の監視対象外の受信パケットが異なる問題を修正しました。

  また監視対象外の受信パケットの仕様を以下のように変更します。

| 変更前(V1.1.0～1.5.1) | 変更後(V1.5.2～) |
|---|---|
| ● 以下の ICMP パケット<br>destination unreachable、<br>echo request<br>● 以下の UDP パケット<br>DHCP | ● 以下の ICMP パケット<br>destination unreachable、<br>echo request<br>● 以下の UDP パケット<br>DNS、DHCP、NTP、SSDP<br>● IGMP パケット<br>● SYN パケット<br>IPv4 以外の Ethernet タイプ番号のパケット |

- スケジューリング機能においてキープアライブ成功時にフェイルセーフのリトライカウンタをリセットしない問題を修正しました。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.5.2-b23886.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.5.2-b23895.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.5.2-b23904.amf |

## バージョン 1.5.1 (2022/6/15)

機能改善を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善・不具合修正

- CPU 動作周波数設定のデフォルト値を ondemand から 1000MHz 固定に変更。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW -GW- | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.5.1-b22563.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.5.1-b22574.amf |
| -RT- | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.5.1-b22649.amf |

## バージョン 1.5.0 (2022/5/19)

機能追加と不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### バージョンアップ

- Ubuntu パッケージ群(18.04 20220406) GW RT GW RT

### 機能追加

- GUI による接点変化履歴確認機能 GW GW
- GUI による DHCP リース機能 GW RT GW RT
- デバイス管理システムのデバイス詳細情報( CPU 使用率、供給電圧、温度、モバイル通信関連情報、ネットワークインターフェイス、ストレージ使用状況)の収集機能 GW RT GW RT
- モバイル回線接続時の時刻自動補正機能の追加 GW RT GW RT

### 機能改善・不具合修正

- 特定キャリアの SIM が認識されない場合がある問題を修正しました。GW RT GW RT
- バージョン 1.3.0 以降に関しては GPS 制御機能で、ハードリセット後の装置起動直後 GPS による時刻合わせ機能が動作しない不具合を修正しました。GW GW
- 機器をオフラインで起動した際に remote.it に必要なパッケージが一部インストールされない不具合を修正しました。GW RT GW RT
- GUI 機能に関して、ストレージ画面の操作ダイアログ表示機能を改善しました。GW GW
- GUI 機能に関して、ファームウェア更新後 GUI を開くと読み込み中画面のままログイン画面が表示されない場合がある問題を修正しました。GW RT GW RT
- デバイス管理システムでモバイル通信経由のデバイス管理システムに接続しているデバイスのファームウェアの差分更新を実行するとエラーになる不具合を修正 GW RT GW RT
- 統合ビデオ管理システム機能でイベント発生と同時にイベントを通知し、イベントクリップは遅れてアップロードするように改善しました。GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能で Nx VMS のパスワードに@や?のような特殊文字が含まれる場合にライブストリーミングが開始できない不具合を修正しました。GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能で通信エラーなどの異常要因が無いにもかかわらず、ビデオクリップやスナップショットの取得がエラーになることがある不具合を修正しました。GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能でオフライン状態のカメラの VOD ストリーミング再生を受け付けるように改善しました。GW GW
- 統合ビデオ管理システム機能/クラウドビデオレコーダーシステムでクラウドとエッジデバイスの時刻が 5 分以上ずれているとクラウドモードのライブストリーミングがエラーになる不具合を修正しました。GW GW RT
- systemctl 実行時に Freezing Execution を出力し、systemctl の実行が失敗することがある現象を低減。GW RT GW RT
- CLI 機能に関して、ブリッジインターフェイスに関連するインターフェイスの設定を削除したにもかかわらず、ブリッジインターフェイスが再起動しない限り残る不具合を修正しました。GW RT GW RT
- CLI 機能に関して、DHCP 機能の router, dns, ntp が auto の設定時に、該当するインターフェイスの IP アドレスを変更するとエラーが発生する不具合を修正しました。GW RT GW RT
- CLI 機能に関して、PPPoE 機能の peer 名称に'_'が含まれる場合、インターフェイス機能の設定で'_'がある設定ができない問題を修正しました。GW RT GW RT
- GUI 機能においてバージョン 1.2.3 のファームウェアからバージョン 1.3.2 以降のファームウェアに差分更新行った場合、更新終了のタイミングでシステムエラー画面が出力される問題を修正しました。GW RT GW RT

全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.5.0-b21467.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.5.0-b21475.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.5.0-b21483.amf |

## バージョン 1.4.5(2022/2/21)

IoT ルーター屋外タイプへの対応と不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋外タイプ

### 機能改善・不具合修正

- 通信モジュールの制御シーケンスに、エラーハンドリング処理を改善しました。
- バージョン 1.2.2 以降の統合ビデオ管理システム機能で、ビデオクリップ機能使用時に、デバイス管理システムエージェントが再起動してしまう場合があった問題を修正しました。
- バージョン 1.2.1 以降の統合ビデオ管理システム機能で、イベント機能で生成されるビデオクリップが短くなってしまう場合があった問題を修正しました。
- 統合ビデオ管理システム機能で Google Chrome 98 以降で DIRECT モードのライブ再生ができない問題の対応。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.4.5-b17222.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.4.5-b16609.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar20-1.4.5-b17216.amf |

## バージョン 1.4.4(2022/1/18)

エッジゲートウェイ屋外タイプへの対応と不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋外タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### バージョンアップ

- remote.it (1.7.60) GW RT

### 機能改善・不具合修正

- バージョン 1.4.2/1.4.3 における統合ビデオ管理システム機能のカメラ検出機能に関して、アクティベート済みのゲートウェイ、カメラにおいて、ディアクティベート、アクティベートを続けて実施した時、カメラのアクティベーションが正常に実施できず、対象カメラ関連の機能が正常に動作しない現象を修正しました。 GW

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.4.4-b16122.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.4.4-b16130.amf |

## バージョン 1.4.3(2021/12/24)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能改善・不具合修正

- バージョン 1.4.2 においてデバイス管理システムによる自動キッティング機能が利用できない問題を修正しました。GW RT
- バージョン 1.2.0～1.4.2 においてネットワーク接続が正常であるにも関わらずデバイス管理システムとの通信が切断・再接続する問題を修正しました。GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.4.3-b15726.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.4.3-b15717.amf |

## バージョン 1.4.2(2021/12/6)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能改善・不具合修正

- バージョン 1.4.0/1.4.1 において圏外発生時に回線が切断されない問題を修正しました。GW RT
- バージョン 1.3.0〜1.4.1 においてデバイス管理システムを有効にしている状態で、デバイス管理システム側に登録されていない状態にもかかわらず、デバイス管理システム側と疎通確認を行い、NG である場合、通信モジュールをリセットする問題を修正しました。GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.4.2-b14946.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.4.2-b14952.amf |

## バージョン 1.4.1(2021/10/27)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能改善・不具合修正

- バージョン 1.4.0 において RS232 ポートのループバック通信ができない問題を修正しました。GW

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.4.1-b14336.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.4.1-b14346.amf |

## バージョン 1.4.0(2021/10/22)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能改善・不具合修正

- SIM カードの切り替え制御の処理時間を低減しました。GW RT
- 回線接続時に SNAT ルールが適応されずパケット処理が切り替わらない問題を修正しました。GW RT
- APN 未指定の場合、正常に通信できない場合がある問題を修正しました。GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag-1.4.0-b14264.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar-1.4.0-b14268.amf |

## バージョン 1.3.2(2021/10/4)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能改善・不具合修正

- 通信モジュール制御プログラムがメモリリークする問題を修正しました。GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.3.2-b13714.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10-1.3.2-b13719.amf |

## バージョン 1.3.1(2021/9/10)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能改善・不具合修正

- ブートローダーのハードウェア制御の最適化を実施しました。GW RT
- CLI 機能に関して、PPPoE 機能の dynamic-snat4 の設定を有効化後、当該サービスが再起動すると dynamic-snat4 の設定が無効化される問題を修正しました。GW RT
- GUI 機能に関して、ストレージ機能を利用している Nx Witness が起動中に、ストレージのマウント機能の設定を登録するとエラー表示が出力される問題を修正しました。GW
- GUI 機能に関して、ファームウェア更新画面において、エリア同期を実行すると、「不明なエラーが発生しました」のダイアログが出力される問題を修正しました。GW RT
- クラウドサービス 履歴の各イベントの発行元を表示する機能を改善しました。GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.3.1-b13330.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10-1.3.1-b13326.amf |

## バージョン 1.3.0(2021/9/6)

機能追加、不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### バージョンアップ

- remote.it (1.7.26) GW RT
- Nx Witness(4.2.0.32480) GW GW
- Ubuntu パッケージ群(18.04 20210625) GW RT GW RT

### 機能追加

- GUI による設定および表示機能拡充 GW RT
- CLI によるネットワーク確認機能 GW RT

### 機能改善・不具合修正

- rcu_preempt がストールを検出する現象を低減する対策を実施。GW RT
- 温度監視プロセスが筐体内温度の誤認識する問題を修正しました。GW RT
- 通信モジュールの電源が OFF の場合に実施すると、device mobile sim コマンドがタイムアウトする障害を修正しました。GW RT
- モバイル接続設定を行った状態で、ファームウェアの更新を行い、再起動すると、モバイル接続状況を示す ANT,MOB の LED が点灯しない不具合を修正しました。GW RT
- 差分更新を実施し、10 分以上の処理時間が掛かる場合、タイムアウトにより差分更新のコマンドの実行が途中で停止される問題を修正しました。GW RT
- クラウドサービス 履歴の各イベントの発行元を表示する機能を改善しました。GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.3.0-b13138.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10-1.3.0-b13142.amf |

## バージョン 1.2.3(2021/7/5)

機能追加、不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能追加

- クラウドサービス remote.it コンフィギュレーション GW RT
- クラウドサービス Nx Witness スマート検索連携 GW
- クラウドサービス 録画記録表示 GW

### 機能改善・不具合修正

- 統合ビデオ管理システム機能の UI のカメラ状態が実機の状態に合わせて更新されない障害を修正しました。 GW
- 統合ビデオ管理システム機能の一周期に複数のサムネイル画像がアップロードされる障害を修正しました。 GW
- 統合ビデオ管理システム機能のファームウェア更新後にカメラ設定が削除される障害を修正しました。 GW
- 統合ビデオ管理システム機能のビデオクリップ再生のパフォーマンスを改善しました。 GW
- FTP の ACTIVE モードが正常動作しない問題を修正しました。 GW RT
- rcu_preempt がストールを検出する現象を低減する対策を実施。 GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.2.3-b94541.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10-1.2.3-b94571.amf |

## バージョン 1.2.2(2021/5/18)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 不具合修正

- 高低温度保護設定機能に対して、no enable を設定しても、機能が有効のままになっていた不具合を修正しました。GW RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.2.2-b80531.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10-1.2.2-b80571.amf |

## バージョン 1.2.1 (2021/4/28)

機能追加、不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ
- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能追加

- GUI による設定機能 GW
- remote.it 設定機能 GW
- デバイス管理システムの統合ビデオ管理システム機能追加 GW
- Ubuntu 関連パッケージのアップデート GW

### 機能改善・不具合修正

- スケジュール機能により PoE リセットを繰り返すと、PoE 監視デーモンが再起動し、PoE 受電機を再起動する不具合を修正しました。GW
- CLI 機能の各ヘルプ表示機能の記載を改善しました。GW RT
- GUI 機能のパッケージリポジトリ設定でホスト名に'/'が存在するとリポジトリデータが削除不可となる不具合を修正しました。RT
- GUI 機能のパッケージアップグレード時にタイムアウトが発生する不具合を修正しました。RT
- GUI 機能の NTP 設定タブでデータを入力し、設定ボタンを押下すると「エラーが発生しました」とダイアログが表示される不具合を修正しました。RT
- GUI 機能の手動設定から時刻を過去にして NTP 同期しようとするとエラーが発生する不具合を修正しました。RT
- GUI 機能のファームウェアのエリア更新中に通信エラーが発生する不具合を修正しました。RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.2.1-b72881.amf |
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10-1.2.1-b72911.amf |

## バージョン 1.2.0 (2021/3/31)

amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプをリリースしました。

### 対象

- amnimo R シリーズ　IoT ルーター 屋内タイプ

### 機能追加

- GUI による設定機能 RT
- remote.it 設定機能 RT
- デバイス管理システムのエージェント機能 RT

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| RT | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ar10-1.2.0-b65671.amf |

## バージョン 1.1.2 (2020/12/15)

不具合修正を実施しました。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ

### 不具合修正

- エッジゲートウェイの電源を起動した際に DHCP サーバーが起動しなくなる不具合を修正しました。
- amnimo クラウド側からエッジゲートウェイを再起動した後、通信エラーが発生した場合、エッジゲートウェイの状態が再起動中のままになる状態が発生する不具合を修正しました。
- amnimo クラウド側からファームウェア、設定ファイルをダウンロード/アップロード中に通信が切断されると、通信復帰時に処理中の状態のまま保持される不具合を修正しました。

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.1.2-b45261.amf |

## バージョン 1.1.0 (2020/10/6)

amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ初回リリース。

### 対象

- amnimo G シリーズ　エッジゲートウェイ 屋内タイプ

### 全体更新用ファームウェア URL

| 機種 | 参照先 URL |
|---|---|
| GW | https://(アカウント):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10-1.1.0-b36431.amf |

## 1.3 ファームウェアと関連ソフトウェアのバージョン対応表

| バージョン | Ubuntu | Nx Witness※ | remote.it (CLI) | 対象機器 |
|---|---|---|---|---|
| 3.4.0 | Ubuntu 24.04 (20251003) | 6.0.6.41837 | 4.0.9 | GW RT GW RT AI AI 3D |
| 3.2.0 | Ubuntu 24.04 (20241112) | 6.0.5.41290 | | GW RT GW RT AI AI 3D |
| 3.1.0 | | 6.0.2.40414 | | AI AI |
| 3.0.0 | | 6.0.1.39873 | | 3D |
| 2.7.1 | Ubuntu 20.04 (20240111) | - | | RT RT |
| 2.7.0 | | | | RT |
| 2.6.2 | | 5.1.1.37512 | | AI AI GW RT GW |
| 2.6.0 | | | | AI AI GW RT GW |
| 2.4.3 | | | 3.0.34 | AI GW GW |
| 2.4.2 | | | | AI GW RT GW |
| 2.4.1 | | | | AI |
| 2.1.0 | Ubuntu 20.04 (20230417) | | | GW RT GW |
| 1.9.9 | Ubuntu 18.04 (20221130) | 5.0.0.35270 | 3.0.33 | GW GW |
| 1.9.8 | | | | GW RT GW RT |
| 1.9.7 | | | | GW RT GW RT |
| 1.9.6 | | | | GW RT GW RT |
| 1.9.5 | | | | GW RT GW RT |
| 1.9.4 | | | 1.8.8 | GW RT GW RT |
| 1.9.2 | | | | GW RT GW RT |
| 1.8.4 | | | | GW RT GW RT |
| 1.8.3 | | | | GW RT GW RT |
| 1.8.2 | | | | GW RT GW RT |
| 1.6.1 | Ubuntu 18.04 (20220406) | | | GW RT GW RT |
| 1.6.0 | | | | GW RT GW RT |
| 1.5.3 | | 4.2.0.32480 | | GW RT GW RT |
| 1.5.2 | | | | GW RT GW RT |
| 1.5.1 | | | 1.7.60 | GW RT GW RT |
| 1.5.0 | | | | GW RT GW RT |
| 1.4.5 | Ubuntu 18.04 (20210625) | | | GW RT GW RT |
| 1.4.4 | | | | GW RT GW |
| 1.4.3 | | | 1.7.26 | GW RT |
| 1.4.2 | | | | GW RT |
| 1.4.1 | | | | GW RT |
| 1.4.0 | | | | GW RT |
| 1.3.2 | | | | GW RT |
| 1.3.1 | | | | GW RT |
| 1.3.0 | | | | GW RT |
| 1.2.3 | Ubuntu 18.04 (20200831) | 4.1.0.31398 | 1.6.36 | GW RT |
| 1.2.2 | | | | GW RT |
| 1.2.1 | | | | GW RT |
| 1.2.0 | | | | RT |
| 1.1.2 | | | - | GW |

| バージョン | Ubuntu | Nx Witness※ | remote.it (CLI) | 対象機器 |
|---|---|---|---|---|
| 1.1.0 | | | | GW |

※AI エッジゲートウェイ、エッジゲートウェイのみ。

# 第2章　注意事項

本機器を利用する際の注意事項について記載します。

## 2.1　制限事項と既知問題について

### 2.1.1　最新バージョン関連の制限事項と既知問題

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 210 | センサー接続ゲートウェイにおいて、パルスカウント機能を有効にすると、同機能を無効にした後も接点変化履歴が記録されない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>パルスカウント機能が無効の状態で、接点変化履歴機能を一度無効化し、再度接点変化履歴機能を有効にしてください。<br>（製品仕様として、パルスカウント機能が有効になっている場合は、接点変化履歴機能は利用できません。） | 3.0.0～ | |
| 209 | GUI機能において、ファームウェア更新機能のパッケージアップグレードを実行すると、異常終了する。（パッケージアップグレードの処理は続いている。）<br>➔ **ワークアラウンド**<br>GUI をログアウトし、一定時間経過後に GUI に再ログインする。 | 3.2.0～ | AI AI GW RT GW RT |
| 207 | センサー接続ゲートウェイにおいて、パルスカウント機能を有効にした状態でCLIからデジタル入力状態（show din、show din permanent）を確認しようとするとCLIが異常終了する。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>パルスカウント機能を有効である状態でデジタル入力の状態を確認したい場合は、bash から”sudo amctrl di”を実行してください。 | 3.0.0～ | |
| 206 | フィルター/NAT設定において、match protocol <number>を指定した場合、すべてのプロトコル（all）に合致してしまう。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>match protocol <number>を使用しないでください。文字列で指定するプロトコルの ah、esp、icmp、tcp、udp は正常に動作します。 | 1.1.0～ | AI AI GW RT GW RT |
| 187 | 差分更新によりパッケージを更新した場合、再起動しないとブートローダーが更新されない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>差分更新によりカーネルやブートローダーの更新がかかった際は、必ず一度再起動してください。再起動するまで更新内容は適用されません。また再起動前にファームウェアのバックアップや同期をおこなうと適用前の状態でバックアップや同期が行われブートローダーは更新されません。 | 3.2.0～ | |
| 179 | エッジゲートウェイに関してRS232またはRS485のボーレート1200bpsを指定してシリアル通信が行えない。 | 1.1.0～ | GW GW |
| 171 | ハードウェアリブートによる再起動中にネットワークのリンクが切断されると、DHCPのリース情報が消去される場合がある。 | 1.1.0～ | GW RT GW RT |
| 149 | GUI機能において、AX30のインターフェイス設定でlan0/1インターフェイスのリンクモードの選択肢が100baseT-Autoのみになっている。 | 3.0.0～ | |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 147 | GUI機能において、接点変化履歴のDINのポート表示がAX30の仕様と一致しない。 | 3.0.0～ | |
| 134 | SanDisk製USBメモリ SDCZ61-032G-J57で「device usb reset 3600s」を実行するとエラーメッセージが出力される | 2.1.0～ | |
| 114 | 統合ビデオ管理システム機能において、デバイス有効化時にカメラ検出が実行されない場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>カメラ検出されなかった場合には、デバイス有効化後にカメラ検出を手動実行してください。 | 2.4.1～ | |
| 113 | 統合ビデオ管理システム機能において、Cloud モードでのライブ再生において 40 分以上の連続再生に失敗する。 | 1.3.1～ | |
| 56 | Nx Witness が録画中に異常終了で再起動する場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>CPU 動作周波数を 1000MHz に固定することで改善する可能性があります。 | 1.1.0～ | |
| 49 | systemctl 実行時に Freezing Execution を出力し、systemctl の実行が失敗することがある。 | 1.1.0～ | |
| 1 | 稀に rcu_preempt がストールを検出し、内部通信エラーが発生し、再起動する場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>① CPU 動作周波数を 1000MHz に固定することで改善する可能性があります。<br>② V1.6.0 で通信モジュールのリセットをトリガとして発生する本事象を修正しました。 | 1.1.0～ | |

### 2.1.2 最新バージョン修正済み一覧

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 205 | zstd パッケージがインストールされている場合、ファームウェア更新を実行しても、ファームウェアが更新されない状態で再起動する。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>zstd パッケージをアンインストールしてください。<br>`$ sudo apt remove zstd` | 3.0.0 ～ 3.2.0 | |
| 204 | プロキシの権限を”show:config:proxy”のみに設定した場合、GUI 機能においてプロキシポートのみの画面が表示されない。 | 3.2.0 | |
| 203 | センサー接続ゲートウェイの GUI 機能のダッシュボード画面において、モバイル接続済みのとき SIM アイコンの下に「connected」ラベルが表示されない。 | 3.2.0 | |
| 202 | GUI 機能のフィルター設定画面において、プロトコルを変更すると設定エラーのダイアログが表示される場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>設定したフィルター設定自体を削除して、最初から再設定してください。 | 1.2.0 ～ 3.2.0 | |
| 201 | GUI 機能のストレージ機能において、暗号化されているパーティションがマウントされている状態で正しいパスワード設定にしているにもかかわらずストレージ設定から設定登録ができない。 | 3.2.0 | |
| 200 | GUI 機能のストレージ機能でパーティションを初期化する際、パーティションがない状態のストレージに対してデフォルトで入力されているパーティションサイズではパーティション作成ができない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>入力されるサイズから 1041(約 1Mbyte)を引いたサイズを指定することで作成可能です。<br>Ex.サイズに 1966080 と表示される場合は 1041 を引いて 1965039 と指定する。 | 1.2.0 ～ 3.2.0 | |
| 199 | PoE 機能において、PoE コントローラから変化イベントを受け続けると異常監視機能より機器が再起動する。 | 1.1.0 ～ 3.2.0 | |
| 198 | IPsec 機能において、バージョン 3.2.0 のアムニモ機器を対向機とした ipsec sa 接続において、3des による接続が確立できない。 | 3.2.0 | |
| 197 | GUI 機能において、クラウドビデオレコード機能を有効化時に設定ファイルが存在しない場合、GUI 上にエラーが表示されない。 | 3.2.0 | |
| 196 | GUI 機能のトラフィック表示機能で、eth0 がない機器で eth0 が選択できる。 | 3.2.0 | |
| 195 | DHCP サーバ機能において、dns/ntp に auto 指定があるとき、インターフェイス機能で本来は削除できない関連するインターフェイス設定を削除できる。 | 1.1.0-3.2.0 | |
| 194 | CLI 機能において ping および traceroute において <DEST_IP_ADDR> の先頭文字に不正な文字( '-' )を指定できる。 | 1.1.0-3.2.0 | |
| 193 | アカウント機能において、設定初期化時にアカウントユーザー、アカウントグループの削除に失敗した場合にエラーメッセージが出力されず設定も復旧しない。 | 1.1.0-3.2.0 | |
| 192 | アカウント機能において、アカウントのパスワード変更、グループ変更およびパスワード有効期限に失敗した場合、変更エラーとなるが、設定項目から抜けるとセグメンテーションフォルトが発生する。 | 1.1.0-3.2.0 | |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 191 | ログイン中のアカウントをアカウント機能でユーザーまたは所属しているグループを削除すると失敗するが、元の設定復旧処理が失敗する不具合を修正しました。 | 1.1.0-<br>3.2.0 | |
| 190 | RS232/RS485 の 偶数パリティを利用した通信ができない。 | 1.4.0-<br>2.6.2 | |
| 189 | モバイル接続中にモバイルモジュール情報またはSIM情報を更新すると、タイムアウトエラーまたは不明なエラーが発生する。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>モバイルモジュール情報または SIM 情報の更新は、モバイル接続設定を無効化して行ってください。 | 1.2.0 ～<br>3.2.0 | |
| 188 | GUI 機能において、スケジュール機能のキープアライブ設定の実行前ランダム待ち時間の「3600 秒」の選択肢の表示が「3000 秒」になっている。 | 3.2.0 | |
| 186 | センサー接続ゲートウェイのファームウェア更新機能の工場初期化オプションを有効にしても、以下ディレクトリ(sharefs)が初期化されない。<br>`/opt/common/`<br>`/var/log/`<br>➔ **ワークアラウンド**<br>bash コンソールで root 権限を設定し、上記ディレクトリを手動で削除してください。 | 3.2.0 | |
| 185 | センサー接続ゲートウェイのGUI機能において、ネットワークのインターフェイス追加設定において、lan1が選択できない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>CLI 機能で指定してください。 | 3.2.0 | |
| 184 | インターフェイス設定でdnsのプライオリティに8もしくは9を選択すると正しく動作しない。 | 1.1.0 ～<br>3.2.0 | |
| 183 | amctrl の pc および ai コマンドに共通オプション '-S, --syslog', '-V, --verbose' を指定できません。 | 3.0.0 ～<br>3.2.0 | |
| 182 | 統合ビデオ管理システムの Direct モードでのライブ再生時に音声が再生されない場合がある。 | 3.1.0 | |
| 181 | 統合ビデオ管理システムの利用時に CPU の使用率が 100%を超える場合がある。 | 1.2.1-<br>2.6.2 | |
| 180 | IPsec 機能において IKE を共有している複数の SA の接続が存在する状況で、一方の SA に対して CLI コマンドやスケジュールからの切断動作を行った場合、他の SA も切断してしまう。 | 1.1.0-<br>3.1.0 | |
| 178 | amctrl の共通オプション -S <LEVEL> を指定すると実行されずに Usage が表示される。 | 1.1.0 ～<br>3.2.0 | |
| 177 | 温度センサーの誤検知（スパイク検知※）による高温検知(125℃)が発生した場合に高低温保護制御が実行される。<br>※ 温度データ取得のポーリング処理において前回値からの急激な温度変化の検知 | 1.3.0-<br>3.1.0 | |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 176 | 屋外タイプエッジゲートウェイに関して RS485 シリアル通信において、通信速度が 2400bps かつ高低温保護制御の温度ポーリング間隔がデフォルトの 1000 ミリ秒より早い値（例.100 ミリ秒）に設定された場合、または送信前後の RTS 遅延時間が設定されている場合に、送信を繰り返すと高低温保護制御の温度取得に失敗することがある。<br>次のように送信前後の RTS 遅延時間を設定する場合に影響がある。<br>`/* RS485 ポートをオープン */`<br>`int fd = open ("/dev/ttyMV1", O_RDWR \| O_NOCTTY \| O_NONBLOCK);`<br>`/* 送信前後の RTS 遅延を設定 */`<br>`struct serial_rs485 rs485conf;`<br>`rs485conf.delay_rts_before_send = 20; /* [msec] */`<br>`rs485conf.delay_rts_after_send  = 30; /* [msec] */`<br>`/* 他、必要に応じて rs485conf を設定 */`<br>`ioctl (fd, TIOCSRS485, &rs485conf); /* 設定を反映 */` | 1.1.0-<br>2.6.2 | GW |
| 175 | DHCP サーバーから配布される NTP サーバーリストが更新できていない場合がある。 | 2.6.2-<br>3.1.0 | AI AI GW RT GW RT |
| 174 | dms-alert のアクションを実行した時にスケジュール機能の動作状況が更新されていない。 | 3.0.0-<br>3.1.0 | AI AI |
| 172 | モバイル回線接続処理に失敗するケースで IP アドレス取得異常、モバイルインタフェース異常が含まれていないため、フェイルセーフ処理が実行されない。 | 1.1.0-<br>3.1.0 | AI AI GW RT GW RT |
| 170 | 屋内タイプエッジゲートウェイに関して瞬断判定処理の不正により、個体により瞬断が頻繁に発生する場合がある。 | 2.4.2-<br>2.6.2 | GW |
| 169 | ドメイン名が以下の条件の場合、traceroute および ping の宛先として指定できない。<br>● 第 3 レベルドメインが存在し、第 2 レベルドメインに '-' または数字が含まれる。<br>● 第 4 レベル以上のドメインが存在する。<br>`#第 3 レベルまでラベルが存在するドメイン名の第 2 レベルドメインに '-' が含まれると実行できない`<br>`amnimo$ traceroute www.aaa-bbb.com`<br>`Invalid argument:dst`<br>`amnimo$`<br><br>`#第 2 レベルまでしかラベルが存在しない場合は第 2 レベルドメインに '-' が含まれていても実行可能`<br>`amnimo$ traceroute aaa-bbb.com`<br>`traceroute to aaa-bbb.com (52.14.144.171), 30 hops max, 38 byte packets`<br>`1  10.10.10.254 (10.10.10.254)  0.541 ms  1.246 ms  1.177 ms`<br>`2  192.168.1.1 (192.168.1.1)  2.141 ms  1.119 ms  1.136 ms` | 1.1.0 ～<br>3.1.0 | AI AI GW RT GW RT |
| 168 | CLI 機能において、スケジュール機能のキープアライブ設定のアクションに"reconnect ipsec"または"dms-alert"を設定すると、GUI 機能において、スケジュール機能のキープアライブ設定のアクションの内容が正しく表示しない。 | 3.1.0 | AI AI |
| 167 | ストレージ機能において、マウントポイントに 2 段以上の深さのサブディレクトリ(例：/mnt/ssd/video/recording)を指定した場合、エラーが発生する。 | 1.1.0～<br>3.0.0 | AI AI GW GW |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 166 | amlog 機能のデータが異常な状態である場合、セグメンテーションフォルトが発生する。 | 3.0.0 | |
| 165 | ファームウェア更新機能において種類が異なる機器（Ex. AI エッジゲートウェイに対してセンサー接続ゲートウェイ）にインストールが可能になっている。 | 1.1.0 ～ 2.x.x | |
| 164 | USB デバイスをリセットするコマンドにおいて、10 分以降に遅延リセットする設定をしても、10 分以内に再起動される。 | 3.0.0 | |
| 163 | デバイス管理システムのテナント操作でソフトウェアリブートを実行した際に、機器にリセットが入らずそのまま動き続けることがある。 | 3.0.0 | |
| 162 | 瞬電後に PoE が復旧しないことがある。 | 1.1.0～ 3.0.0 | |
| 160 | DHCP サーバーから相手機器の DHCP クライアントに配布された設定値どおりに設定・変更されない。 | 1.1.0～ 3.0.0 | |
| 159 | 機器起動時にしきい値以上の温度であった場合に高低温保護動作が作動しない。 | 1.1.0～ 3.0.0 | |
| 158 | CLI 機能において、管理者モードでフィルター機能の show config で確認した場合、出力に configure や exit が含まれていない。 | 1.1.0～ 3.0.0 | |
| 157 | 短時間に複数回サービス起動をするコマンドが繰り返された場合にエラーになる場合がある。(参考値：10 秒以内に 5 回以上実行する)<br>➔ **ワークアラウンド**<br>時間を空けてコマンドを実行してください。 | 3.0.0 | |
| 156 | 時刻設定時に“cannot set hwclock date.”が発生する。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>再度コマンドを実行してください。 | 3.0.0 | |
| 155 | ファームウェア更新機能において、URL 指定でファイルダウンロード開始直後（進捗率 0%）にキャンセルボタンを押すと通信エラーが発生する。 | 3.0.0 | |
| 154 | ファームウェア更新機能において、URL 指定でファイルダウンロード時にプログレスバーが更新されない。 | 3.0.0 | |
| 153 | フィルター設定のコントラックルールを適用した場合、デバイス管理システムや統合ビデオ管理システムとの接続中に、LAN 機器の切断・接続が起きると一定時間システムと接続不能(最大 10 分)になる。 | 1.5.0 ～ 3.1.0 | |
| 152 | 他デバイスの設定の移行時に、ストレージの SSD 暗号化の設定が含まれた設定ファイルを別デバイスに設定を読み込んだ場合、正常にマウントしたように見えるが、実際はマウントが失敗する。 | 1.1.0～ 3.0.0 | |
| 151 | CLI 機能において、破損した XFS フォーマットしたパーティションを修復する場合、修復失敗の場合も成功と表示していた。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>XFS フォーマットのパーティションの修復結果を確認する場合は、check コマンドをご利用ください。<br>`amnimo# device storage fsck sda1 check type xfs`<br>`Partition need to be repaired.` | 2.1.0～ 3.0.0 | |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 150 | ファームウェアスナップショット生成機能において、スナップショットの生成中に3時間以上経過すると再起動され、スナップショットが生成できない。<br>ルートファイルシステムに含まれるファイル数やサイズによりスナップショットの生成に必要な時間は変わりますが、概算でルートファイルシステムの使用サイズが約 70%程度を超えると 3 時間以上になります。 | 3.0.0 | |
| 148 | DHCP クライアントが NTP サーバアドレス変更に追従しない場合がある。 | 1.1.0～<br>1.9.9,<br>2.5.0～<br>2.x.x | |
| 146 | ファームウェアのバージョン表示機能において、起動エリア情報が表示されない。 | 3.0.0 | |
| 145 | USB メモリパーティションのフォーマット type を XFS に指定すると設定ができない場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>パーティションサイズを 300Mbyte 以上に指定してください。 | 3.0.0 | |
| 144 | フェイルセーフ機能においてハードウェアリブート実行時のログが SYSLOG に記録されない。 | 2.5.0 ～<br>2.x.x | |
| 143 | ホスト名の末尾に-(ハイフン)が設定されているとき、hostname が正しく設定されない。 | 2.1.0～<br>2.x.x | |
| 142 | ecm/ppp インターフェイスの MTU を 1500 以上が設定可能になる。 | 1.1.0～<br>2.x.x | |
| 141 | CLI 機能において、IPsec の詳細設定モードのプロンプトに{}が表示されている | 1.1.0～<br>2.x.x | |
| 140 | CLI 機能において、不正な FW 更新コマンドでエラーが表示されない。 | 1.1.0～<br>2.x.x | |
| 139 | 設定初期設定による起動において、起動後ログインしない状態で再起動しても、設定が初期化される。 | 2.6.0 ～<br>2.x.x | |
| 138 | 通信モジュール非搭載 IoT ルーターの場合、show config 実行時、モバイル情報が取得できないため、エラーが表示される。 | 1.2.0 ～<br>2.6.2 | |
| 137 | デバイス管理システムにより remote.it 設定を行っている場合に remote.it が正常に起動しないことがある。 | 2.6.0 | |
| 136 | インターフェイス機能において、以下の手順でリンクモードを設定すると、リンクモードがインターフェイスに正しく反映されない問題が発生することがある。<br>① インターフェイスが無効な状態でリンクモードを変更する。<br>② その後、インターフェイスを有効にする。<br>➔ **ワークアラウンド** | 2.1.0 ～<br>3.0.0 | |
| 132 | NTP 機能において、ecm0 のインターフェイス機能を先に設定した状態で、sync-interface を設定すると、定期的な NTP の同期パケットが出力されない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>sync-interface を設定後に、ecm0 のインターフェイス機能を有効にしてください。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 131 | デバイス統合管理システムで USB ポートに対するアクション（ON,OFF, リセット）が実行できない。 | 2.1.0～<br>2.4.3 | AI |
| 130 | ファームウェアスナップショット生成機能でエラーが表示される。<br>（ファームウェアのスナップショットは正常に生成されます。） | 2.1.0～<br>2.4.3 | AI GW GW |
| 129 | NTP 機能において、sync-interface に設定されていないインターフェイスがリンクアップした場合に NTP サーバーが再起動する。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 128 | GUI 機能の NX Witness 設定において、設定保存や設定復帰時にエラーが発生した際、HTTP サーバーの 500 エラー、530 エラーが発生する場合がある。<br>① 設定保存ボタンを押下した際に、入力したパスワードが不一致の場合とパスワードが未設定の場合に 500 エラーが発生します。<br>② 設定復帰ボタンを押下した際に、ローカルのデータベースファイルが存在しない場合に 530 エラーが発生します。 | 2.1.0～<br>2.4.3 | AI GW GW |
| 127 | syslog の message ファイルのローテート時に付与されるファイル番号が連番になっていない場合がある。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 126 | スケジュール機能において、PPP が手動接続されている場合、general-control で PPP 切断のアクションを設定しても、PPP 切断後、再接続してしまう。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 125 | GUI 機能のストレージ設定において、パーティション作成を中断した後に再度パーティション作成を行うとエラーが発生する。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW GW |
| 124 | モバイル接続で手動接続の場合、通信モジュールの機能に関わる変更がある差分更新を行うと通信モジュールの制御プロセスが再起動する。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 123 | スケジュール機能において、general-control 設定のアクションでモバイルや PPP の接続を行う場合、関連する接続設定を変更しても、変更が反映されない。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 122 | PMTU 設定が設定しているインターフェイスに限らず、すべてのインターフェイスに反映する。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 121 | パケットキャプチャ機能において、インターフェイスとしては UP している状態ではあるが、IP アドレスが付与されていない場合にパケットキャプチャを実行するとエラーとなる。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 120 | NAT/フィルターの設定処理が失敗する場合がある。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 119 | イーサネットポートがリンクダウンした場合、IP アドレスが削除される。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 118 | モバイルモジュール機能において、rat service による 3G 固定や 4G 固定の設定機能が動作しない。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 117 | サービス起動処理が異常終了した場合に、フェイルセーフ機能が動作しない。 | 1.1.0～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 116 | スナップショット機能で生成されるファームウェアイメージにで、デバイス管理システム機能で利用するデバイス証明書が/var/lib/amnimo-ecc配下に保存され、これらのファイルを除外対象としない場合、ナップショット機能で生成されたファームウェアを使ってファームアップされた機器は同じデバイス証明書を保持してしまう。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>➔ スナップショット機能でファームウェアイメージの作成する際は以下のファイルの削除をお願いします。<br>`/var/lib/amnimo-ecc/aac.txt`<br>`/var/lib/amnimo-ecc/awsiot/private.pem.key`<br>`/var/lib/amnimo-ecc/awsiot/thing.json`<br>`/var/lib/amnimo-ecc/awsiot/certificate.pem.crt` | 1.9.8～<br>2.4.3 | AI GW GW |
| 115 | デバイス管理システム機能において有効化中のデバイスを設定初期化した後に、デバイス管理システムのターミナル機能から SSH 接続を試行するとその後、当該機能からの SSH 接続に失敗する。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>復旧する場合は、当該デバイスに直接 SSH 接続して以下のコマンドを実行する。<br>`admin@amnimo:^$ sudo ssh-keygen -f "/home/eccuser/.ssh/known_hosts" -R "localhost"` | 1.8.2～ | AI GW RT GW |
| 112 | インターフェイス機能において、１つのインターフェイスに複数の IP アドレスが設定されている場合に、インターフェイス機能の設定変更時に設定処理を失敗し、ルーティング情報が消失する場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>インターフェイス機能の再設定をしてください。 | 2.1.0～<br>2.4.1 | AI GW RT GW |
| 111 | DHCP サーバーのフェイルセーフが有効状態から無効化された後、10 分経過するとアムニモの監視アプリ機器が再起動する。 | 2.4.1～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 110 | GUI 機能において、パーティション作成を中断した後に再度パーティション作成を行うとエラーが発生する。 | 1.3.0 ～<br>2.4.3 | AI GW GW |
| 109 | NTP 機能において、sync-interface に設定されていないインターフェイス機能のリンクアップ時に NTP サーバーが再起動される。 | 2.1.0 ～<br>2.4.3 | AI GW RT GW |
| 108 | インターフェイス無効化時に NTP 起動させて、インターフェイス有効化させると ntp.nict.jp を IPv6 アドレスで表示する場合がある。<br>※IPv6 アドレスの ntp.nict.jp と時刻同期はしませんので、実害はありません。 | 1.1.0 ～<br>2.4.3 | AI GW RT GW RT |
| 106 | インターフェイス機能において、dhcp mtu 有効時の mtu の値が設定されない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>DHCP クライアント設定の際に自身で設定した MTU を利用する場合は、"dhcp4 mtu"を削除する。(no dhcp4 mtu とする | 1.1.0 ～<br>3.2.0 | AI AI GW RT GW RT |
| 105 | amlog 機能において、amlog show コマンド や amlog read コマンドを行うと全ログが表示する場合がある。 | 1.1.0～<br>2.4.1 | AI GW RT GW |
| 104 | モバイル設定を変更した際に SIM failure 状態で通信モジュールがハングアップする場合がある。<br>発生した場合は、機器を再起動してください。 | 1.1.0～<br>2.1.0 | GW RT GW RT |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 103 | GUI 機能において、詳細設定から PPP の設定を削除しても PPP サービスが停止しない。 | 1.2.0～<br>2.1.0 | GW RT GW RT |
| 102 | CLI 機能において、show config コマンドで account に関する設定が表示されない。 | 1.8.2～<br>2.1.0 | GW RT GW RT |
| 101 | 統合ビデオ管理システム機能において、デバイス再起動後にカメラがオフラインになる。<br>VMS 認証情報を再度保存することで復旧が可能です。 | 1.2.0～<br>1.9.8,<br>2.1.0 | GW GW |
| 100 | 統合ビデオ管理システム機能において、タイムラインバー上に表示される期間内に 1000 件以上のモーション検知があった場合、検索結果の一部が表示されない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>Ubuntu18.04 ベース(1.9.x)の環境をご利用ください。 | 2.1.0 | GW GW |
| 98 | 統合ビデオ管理システム機能において、PTZ 操作ができない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>デバイス側で Nx Witness サーバー側の設定を変更することで PTZ 操作が可能になります。詳細手順は下記 URL を参照ください。<br>https://amnimo.com/docs/cloud/ja/restriction/enable_ptz.pdf | 2.1.0 | GW GW |
| 96 | 低電圧検出状態に応じて変化をフックする処理や関連するログが出力する処理が動作していない。 | 1.1.0 ～<br>1.9.x※ | GW RT GW RT |
| 95 | GUI 機能に関して、簡易設定画面においてインターフェイス eth0 の設定が反映されない場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>簡易設定実施後、詳細設定-インターフェイスから eth0 の有効/無効を切り替えることで、設定値が反映され正常に動作します。 | 1.1.0～<br>1.9.x※ | GW RT GW RT |
| 94 | CLI 機能に関して、管理者モードとユーザーモードのコマンド履歴が共通になっている不具合を修正しました。 | 1.1.0～<br>1.9.x※ | GW RT GW RT |
| 93 | 統合ビデオ管理システム機能において、デバイスの時刻が 5 分以上ずれていると syslog に “panic: runtime error”、“signal SIGSEGV” 等のエラーメッセージが定期的に出力される。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>デバイス側の時刻を手動設定機能や NTP 機能を利用し、正しい時刻に設定してください。 | 1.9.6～<br>1.9.7 | GW GW |
| 92 | デバイス統合管理システム機能において、remote.it デバイス登録が失敗したにも関わらず、成功と表示されてしまう。 | 1.9.4～<br>1.9.7 | GW RT GW RT |
| 91 | デバイス統合管理システム機能において、デバイスを有効化中、デバイス・クラウド間の通信エラーが原因で有効化処理が完了しないことがある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>remote.it デバイス登録後、 remote.it タブ上の「リストを更新」(Refresh)ボタンを押し、現在の登録状態を確認してください。登録がされていなければ再度登録を実行してください。 | 1.1.0 ～<br>1.9.7 | GW RT GW RT |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 90 | ファームウェアの差分更新機能で、パッケージ差分の量が多い場合に、remote.it の差分更新パッケージの段階でエラーが出て、差分更新に失敗する場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>差分更新を使わずに全体更新を使用してください。差分更新に失敗してしまった場合は、再起動時ログインできない可能性が高いため、起動面の切り替えを実施して再起動する必要があります。<br>(『デベロッパーズマニュアル』の『4.2 正常に起動しない場合の対処』をご確認ください。) | 1.1.0 ～ 1.6.1 | GW RT GW RT |
| 89 | 電源起動時、remote.it が正常に起動しない場合がある。 | 1.9.5 ～ 1.9.6 | GW RT GW RT |
| 88 | デバイス管理システムにおいて、エッジ側でデバイス管理システムのサービスを service dms stop コマンドで停止した場合、タイムアウトやエラーになることがある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>エラー発生時は、再度実行してください。 | 1.2.0 ～ 1.8.4 | GW RT GW RT |
| 87 | デバイス管理システムにおいて、クラウド側からファームアップの全体更新を実施時に、成功したにもかかわらず必ずエラーになってしまう。 | 1.9.2 | GW RT GW RT |
| 86 | 統合ビデオ管理システム機能機能において、稀に VMS 認証情報が保存されない場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>再度デバイス管理システムや統合ビデオ管理システム機能から設定を保存するか、端末を再起動してください。 | 1.2.1 ～ 1.8.4 | GW GW |
| 85 | 統合ビデオ管理システム機能において、マルチバイト文字を含む名前のカメラを検出できない。 | 1.2.1 ～ 1.8.4 | GW GW |
| 84 | 統合ビデオ管理システム機能において、スマートサーチで多数のモーション検知があった場合にタイムラインバーに表示されない。 | 1.2.1 ～ 1.8.4 | GW GW |
| 83 | GUI 機能に関して、モバイルモジュール情報を更新ボタンで更新する際、SIM1 側の情報が更新されない。 | 1.5.0～ 1.8.4 | GW RT GW RT |
| 82 | スケジュール機能のキープアライブ設定において、2 つの ping の送信先がある場合に設定する切り替え時間が、本来は ping 送信先切り替え時のランダム待ち時間（ping wait）のみであるが、加えて ping リクエストの送信間隔を（ping interval）および 1 秒加算されてしまう。 | 1.1.0～ 1.9.x※ | GW RT GW RT |
| 81 | イーサネットポートがリンクアップしていない状態で起動すると、起動に時間が 2 分以上かかる場合がある。 | 1.8.2～ 1.9.x※ | GW RT GW RT |
| 80 | イーサネットポートの再接続、モバイル回線の再接続、PPPoE の再接続により、DNS オプション（接続先より配信された DHCP オプションセットの DNS サーバーの IP アドレスを使用する）が有効でない場合も、DNS サーバーを再起動する。 | 1.1.0 ～ 1.8.3 | GW RT GW RT |
| 79 | モバイル回線や PPPoE 等の回線切断、接続等のルーティング変更時に、パケット通信が前回のコネクション追跡のルールが維持され、意図した経路で通信できない状態になる。 | 1.1.0 ～ 1.3.2 、 1.5.0 ～ 1.8.2 | GW RT GW RT |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 78 | プロキシ機能の FQDN ブラックリスト制御の FQDN 設定を行うと、意図せず URL ホワイトリスト制御が有効になる。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>FQDN ブラックリスト制御の FQDN 設定を行った場合は、URL ホワイトリスト制御の有効無効設定を確認し、無効に再設定を行ってください。 | 1.8.2 | GW RT GW RT |
| 77 | CLI 機能および GUI 機能に関して、モバイル通信設定(peer)およびセッション設定(session)を行った後、モバイル通信機能を停止する場合に、モバイル通信設定のセッション設定の削除を行うと、機器情報画面でエラーが発生する。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>モバイル通信を使用しない場合はセッション設定ではなく、モバイル回線を削除してください。 | 1.2.0 ～ 1.8.2 | GW RT GW RT |
| 76 | 統合ビデオ管理システム機能において、クラウドとエッジゲートウェイ間の IoT 通信が予期せず切断された後通信が復旧せず、サムネイル更新やクリップ取得、ライブ再生などが動作しなくなる。 | 1.2.1 ～ 1.6.1 | GW GW |
| 75 | バージョン 1.6.1 未満のファームウェアから 1.6.1 に差分更新すると、ブートエリアが変わる。 | 1.6.1 | GW RT GW RT |
| 74 | 冗長領域の切り替え条件である電源起動時のエッジゲートウェイの管理アプリケーションが正常起動と判定する段階が、rc.local 終了時ではなく、initramfs 終了時になっている。(デベロッパーズマニュアル「冗長領域の切り替え条件」の記載と異なる。) | 1.1.0 ～ 1.6.0 | GW RT GW RT |
| 73 | エッジゲートウェイ起動時に Nx Witness 5.0.0.35270 の設定データのロードに失敗する場合がある | 1.6.0 | GW GW |
| 72 | 終端ではない IPsec 経路上にエッジゲートウェイまたは IoT ルーターを設置し、IPsec のパケットが通ると機器が再起動する。 | 1.4.0 ～ 1.6.0 | GW RT GW RT |
| 71 | CLI 機能に関して、IPsec 機能の IKE の事前共有鍵設定の文字列が、「pre-shard-key」となっている。(本来であれば、「pre-shared-key」) | 1.1.0 ～ 1.6.1 | GW RT GW RT |
| 69 | 統合ビデオ管理システム機能でダイレクトモードの映像再生、VOD 再生、Smart Search 結果のスキップ再生のパフォーマンスが出ない。 | 1.2.1 ～ 1.5.3 | GW GW |
| 68 | 統合ビデオ管理システム機能でエッジデバイスとクラウドの時間が 5 分以上ずれているためにダイレクトモード接続が失敗した場合、エラーメセージを表示するように改善しました。 | 1.2.1 ～ 1.5.3 | GW GW |
| 67 | 統合ビデオ管理システム機能でパナソニック製カメラ WV-S3510 のダイレクトモードでの VOD 再生において高速再生が機能しない不具合を修正しました。 | 1.2.1 ～ 1.5.3 | GW GW |
| 66 | 無通信監視タイマーを有効にした状態で通信キャリアの認証エラー状態が継続すると、回線切断処理後、プログラムが停止せず、機器が再起動する不具合を修正しました。 | 1.1.0 ～ 1.5.3 | GW RT GW RT |
| 65 | モバイル制御機能において MSISDN 保有の SIM カードから MSISDN を取得できない場合がある。 | 1.5.0 ～ 1.5.2 | GW RT GW RT |
| 63 | 統合ビデオ管理システム機能でダイレクトモードによるライブ再生中、再生時間が 1970/01/01 00:00:00 となる場合がある。 | 1.2.1 ～ 1.5.1 | GW GW |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 62 | デバイス管理システムでエッジデバイス側が 60 分以上クラウド側の時刻より進んでいる場合、ファームウェア全面更新、syslog の収集、設定ファイルの収集・ダウンロードが失敗する。 | 1.1.0 ～ 1.5.1 | GW RT GW RT |
| 61 | モバイル制御機能において、無通信検知機能の監視対象外パケットが異なる。 | 1.1.0 ～ 1.5.1 | GW RT GW RT |
| 60 | エッジゲートウェイ、IoT ルーターにおいて、スケジューリング機能においてキープアライブ成功時にフェイルセーフのリトライカウンタをリセットしない。 | 1.1.0 ～ 1.5.1 | GW RT GW RT |
| 57 | タイムゾーンを変更後、機器を再起動するまでスケジュール機能に変更が反映されない。 | 1.1.0 ～ 1.6.1 | GW RT GW RT |
| 55 | remote.it バージョン 1.7.6（エッジゲートウェイ 1.4.4 以降）では、remoteit コマンドの add オプション実行時に以下の問題が発生する。<br>● サービスタイプのリストが正しく出力されない。<br>● サービスタイプを名前で登録しようとすると「無効」となり登録ができない。<br>詳細は別ページの「2.4 remote.it バージョン 1.7.6（エッジゲートウェイバージョン 1.4.4～1.5.1）における問題と回避方法について」をご確認お願いいたします。 | 1.4.4 ～ 1.5.1 | GW RT GW RT |
| 54 | GUI 機能においてバージョン 1.4.5 以前のファームウェアからログイン画面が表示されない場合がある、またはファームウェア画面に戻らない場合がある。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>詳細は別ページの「2.5 バージョン 1.4.5 以前の GUI 機能からのファームウェア更新時の問題と回避方法について」をご確認お願いいたします。 | 1.2.0 ～ 1.4.5 | GW RT GW RT |
| 53 | 特定キャリアの SIM が認識しない場合がある。 | 1.1.0 ～ 1.4.5 | GW RT GW RT |
| 52 | GPS 制御機能で、ハードリセット後の装置起動直後 GPS による時刻合わせ機能が動作しない。 | 1.3.0 ～ 1.4.5 | GW GW |
| 51 | 機器をオフラインで起動した際に remote.it に必要なパッケージが一部インストールされない。 | 1.2.0 ～ 1.4.5 | GW RT GW RT |
| 50 | デバイス管理システムにおいてモバイル通信経由でデバイス管理システムに接続しているデバイスのファームウェアの差分更新を実行するとエラーになる。 | 1.2.0 ～ 1.4.5 | GW RT GW RT |
| 48 | CLI 機能に関して、ブリッジインターフェイスに関連するインターフェイスの設定を削除したにもかかわらず、ブリッジインターフェイスが再起動しない限り残る。 | 1.2.0 ～ 1.4.5 | GW RT GW RT |
| 47 | 統合ビデオ管理システム機能で Nx VMS のパスワードに@や?のような特殊文字が含まれる場合にライブストリーミングが開始できない。 | 1.2.1 ～ 1.4.5 | GW GW |
| 46 | 統合ビデオ管理システム機能で通信エラーなどの異常要因が無いにもかかわらず、ビデオクリップやスナップショットの取得がエラーになることがある。 | 1.2.1 ～ 1.4.5 | GW GW |
| 45 | 統合ビデオ管理システム機能でオフライン状態のカメラの VOD ストリーミング再生を受け付けない場合がある。 | 1.2.1 ～ 1.4.5 | GW GW |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 44 | 統合ビデオ管理システム機能/クラウドビデオレコーダーシステムでクラウドとエッジの時刻が 5 分以上ずれているとクラウドモードのライブストリーミングがエラーになる。 | 1.2.1 ～ 1.4.5 | GW GW RT |
| 43 | CLI 機能に関して、DHCP 機能の router, dns, ntp が auto の設定時に、該当するインターフェイスの IP アドレスを変更するとエラーが発生する。 | 1.3.0 ～ 1.4.5 | GW RT GW RT |
| 42 | 統合ビデオ管理システム機能で、イベント機能で生成されるビデオクリップが短くなってしまう場合がある。 | 1.2.1 ～ 1.4.4 | GW GW |
| 41 | 統合ビデオ管理システム機能で Google Chrome 98 以降で DIRECT モードのライブ再生ができない。 | 1.2.1 ～ 1.4.4 | GW GW |
| 40 | バージョン 1.2.2 以降の統合ビデオ管理システム機能で、ビデオクリップ機能使用時に、デバイス管理システムエージェントが再起動してしまう場合がある。 | 1.2.2 ～ 1.4.4 | GW GW |
| 39 | 統合ビデオ管理システム機能のカメラ検出機能に関して、アクティベート済みのゲートウェイ、カメラにおいて、ディアクティベート、アクティベートを続けて実施した時、カメラのアクティベーションが正常に実施できず、対象カメラ関連の機能が正常に動作しない。 | 1.4.2, 1.4.3 | GW |
| 38 | ネットワーク接続が正常であるにも関わらずデバイス管理システムとの通信が切断・再接続する場合がある。 | 1.2.0 ～ 1.4.2 | GW RT |
| 37 | デバイス管理システムによる自動キッティング機能が利用できない。 | 1.4.2 | GW RT |
| 36 | デバイス管理システムを有効にしている状態で、デバイス管理システム側に登録されていない状態にもかかわらず、デバイス管理システム側と疎通確認を行い、NG である場合、通信モジュールをリセットする。 | 1.3.0 ～ 1.4.1 | GW RT |
| 35 | 圏外発生時に回線が切断されない。 | 1.4.0, 1.4.1 | GW RT |
| 33 | RS232 ポートのループバック通信ができない。 | 1.4.0 | GW |
| 32 | 回線接続時にパケット処理が切り替わらない。 | 1.1.0 ～ 1.3.2 | GW RT |
| 31 | APN 未指定の場合、正常に通信できない場合がある。 | 1.1.0 ～ 1.3.2 | GW RT |
| 30 | CLI 機能に関して、パケットダンプ機能において、インターフェイスを指定しない場合、意図しないインターフェイスが選択される場合がある。 | 1.3.0 ～ 1.6.1 | GW RT GW RT |
| 29 | 通信モジュール制御プログラムがメモリリークする。 | 1.1.0 ～ 1.3.0 | GW RT |
| 28 | GUI 機能に関して、ストレージ機能を利用している Nx Witness が起動中に、ストレージのマウント機能の設定を登録するとエラー表示が出力される。（設定は正常に登録されている） | 1.2.1 ～ 1.3.0 | GW |
| 27 | GUI 機能に関して、ファームウェア更新画面において、エリア同期を実行すると、「不明なエラーが発生しました」のダイアログが出力される場合がある。 | 1.2.1 ～ 1.3.0 | GW RT |
| 26 | CLI 機能に関して、PPPoE 機能の dynamic-snat4 の設定を有効化後、当該サービスが再起動すると dynamic-snat4 の設定が無効化される場合がある。 | 1.2.0 ～ 1.3.0 | GW RT |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 25 | 温度監視プロセスが筐体内温度を 125°Cと誤認識する場合がある。 | 1.2.0 ～ 1.2.3 | GW RT |
| 24 | 差分更新を実施し、10 分以上の処理時間が掛かる場合、タイムアウトにより差分更新のコマンドの実行が途中で停止される場合がある。 | 1.2.0 ～ 1.2.3 | GW RT |
| 23 | CLI 機能に関して、PPPoE 機能の peer 名称に'_'が含まれる場合、インターフェイス機能の設定で'_'がある設定ができない。 | 1.1.0 ～ 1.2.3 | GW RT |
| 22 | 通信モジュールの電源がOFFの場合に実施すると、device mobile sim コマンドがタイムアウトする。 | 1.1.0 ～ 1.2.3 | GW RT |
| 21 | モバイル接続設定を行った状態で、ファームウェアの更新を行い、再起動すると、モバイル接続状況を示す ANT,MOB の LED が点灯しない。 | 1.1.0 ～ 1.2.3 | GW RT |
| 20 | v1.3.0 以上の apt サーバーと差分更新をする際、差分更新が中断される。<br>回避方法については、別ページの「2.2 差分更新をする際に中断する場合の回避方法について」をご確認お願いいたします。 | 1.1.0 ～ 1.2.3 | GW RT |
| 19 | 統合ビデオ管理システム機能の UI のカメラ状態が実機の状態に合わせて更新されない。 | 1.2.1,1.2.2 | GW |
| 18 | 高低温度保護設定機能において、no enable を設定しても、機能が有効のままになる。 | 1.2.2 | GW RT |
| 17 | 統合ビデオ管理システム機能の一周期に複数のサムネイル画像がアップロードされる。 | 1.2.1,1.2.2 | GW |
| 16 | 統合ビデオ管理システム機能のファームウェア更新後にカメラ設定が削除される。 | 1.2.1,1.2.2 | GW |
| 15 | FTP の ACTIVE モードが正常動作しない。 | 1.1.0 ～ 1.2.2 | GW RT |
| 14 | ブリッジインターフェイスを作成し、設定を保存しない状態で再起動しても、ブリッジインターフェイスが残る。 | 1.2.0 ～ 1.9.x※ | GW RT GW RT |
| 13 | GUI 機能のパッケージリポジトリ設定でホスト名に'/'が存在するとリポジトリデータが削除不可となる。 | 1.2.0 | RT |
| 12 | GUI 機能のパッケージアップグレード時にタイムアウトが発生する。 | 1.2.0 | RT |
| 11 | GUI 機能の NTP 設定タブでデータを入力し、設定ボタンを押下すると「エラーが発生しました」とダイアログが表示される。 | 1.2.0 | RT |
| 10 | GUI 機能の手動設定から時刻を過去にして NTP 同期しようとするとエラーが発生する | 1.2.0 | RT |
| 9 | GUI 機能のファームウェアのエリア更新中に通信エラーが発生する。 | 1.2.0 | RT |
| 8 | バージョン 1.2.0 から 1.2.1 以降へバージョンアップする際に GUI 設定が有効から無効になる場合がある。 | 1.2.0 | RT |
| 7 | スケジュール機能により PoE リセットを繰り返すと、PoE 監視デーモンが再起動し、PoE 受電機を再起動する。 | 1.1.0,1.1.2 | GW |
| 6 | CLI 機能に関して、ブリッジインターフェイスで有効化し、当該ブリッジで DHCP 機能のサービスを起動し、その後ブリッジインターフェイスを無効にした場合、当該ブリッジの DHCP 機能の設定ができなくなる。 | 1.2.0 ～ 1.9.x※ | GW RT GW RT |

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 5 | バージョン 1.1.x のエッジゲートウェイにおいて、Nx Witness 機能が無効化した状態で、バージョン 1.2.1 以降に差分更新を実施した場合、Nx Witness 機能が有効化する。機器を再起動すると無効化した状態になる。（本制限事項に限らず、更新後は再起動を推奨しています。） | 1.1.0,1.1.2 | GW |
| 4 | エッジゲートウェイの電源を起動した際に DHCP サーバーが起動しなくなる。 | 1.1.0 | GW |
| 3 | amnimo クラウド側からエッジゲートウェイを再起動した後、通信エラーが発生した場合、エッジゲートウェイの状態が再起動中のままになる状態が発生する。 | 1.1.0 | GW |
| 2 | amnimo クラウド側からファームウェア、設定ファイルをダウンロード/アップロード中に通信が切断されると、通信復帰時に処理中の状態のまま保持される。 | 1.1.0 | GW |

※Ubuntu20.04 ベース以降の環境では、修正・改善されていますが、Ubuntu18.04 ベースの環境では修正・改善されていない内容になります。

### 2.1.3 修正しない制限事項

| No. | 内容 | 影響範囲 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 208 | ファームウェア更新機能において、パッケージアップグレード実行後に PoE のステータス表示を確認すると、すべてのポートの PoE クラスが”unknown”になる。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>パッケージアップグレード後は再起動を実施してください。 | 1.1.0～ | GW AI AI GW GW RT |
| 97 | CPU 周波数を 1000MHz 以外に設定すると GUI 機能が動作しない。<br>➔ **ワークアラウンド**<br>CPU 動作周波数を 1000MHz に設定してください。 | 2.1.0～ | GW RT GW |
| 70 | Nx Witness 5.0.0.35270 で一部のカメラの自動検出機能が正常に動作しない。<br>➔ 詳細は別ページの「2.6 Nx Witness 5.0.0.35270 を利用する際の制限事項について」を確認してください。 | 1.6.0 ～ 1.9.9 | GW GW |
| 34 | バージョン 1.3.2 以前の屋内 IoT ルーターについて、全体更新で本バージョンにアップした場合、パーティションの数が変更します。<br>➔ 詳細は別ページの「2.3 バージョン 1.4.0 以降の IoT ルーターの eMMC パーティション変更について」を確認してください。 | 1.4.0～ | RT |

## 2.2 差分更新をする際に中断する場合の回避方法について

バージョン 1.1.2 からバージョン 1.3.0 以降の apt サーバーに対して差分更新を実施しようとすると、以下のようなエラーが発生し、差分更新が中断されます。

```
amnimo# firmware package upgrade
Reading package lists... Done
Building dependency tree
Reading state information... Done
You might want to run 'apt --fix-broken install' to correct these.
The following packages have unmet dependencies:
libag-cfg : Depends: unbound:all
E: Unmet dependencies. Try 'apt --fix-broken install' with no packages (or specify a
solution).
===== CAUTION =====
amsh is now stopped to reload the upgraded packages.
Please restart amsh.
Killed
```

本事象発生時は、bash から以下のコマンドを実行し、パッケージの修復および最新版への更新を実施してください。

```
admin@amnimo:~$ sudo apt --fix-broken install
admin@amnimo:~$ sudo apt upgrade -y --with-new-pkgs
```

## 2.3 バージョン 1.4.0 以降の IoT ルーターの eMMC パーティション変更について

IoT ルーターのバージョン 1.4.0 以降では、将来の機能拡張に備え、両方の冗長領域を指定した全体更新を行った際にパーティションが変更されます。この影響により古いバージョンのファームウェアに更新できないパターンがありますので、ご注意ください。

### バージョン 1.3.2 以前の IoT ルーターの旧 eMMC パーティション

| デバイスファイル | マウントポイント | 容量 | ファイルシステム | 冗長領域※1 | 用途 |
|---|---|---|---|---|---|
| /dev/mmcblk0boot0 | /mnt/config/area0 | 2.9MB | ext4 | AREA0 | 設定保存領域 |
| /dev/mmcblk1boot0 | /mnt/config/area1 | 2.9MB | ext4 | AREA1 | 設定保存領域 |
| /dev/mmcblk0p1 | / | 1.4GB | ext4 | AREA0 | rootfs 領域 |
| /dev/mmcblk0p2 | / | 1.4GB | ext4 | AREA1 | rootfs 領域 |
| /dev/mmcblk0p3 | /opt/local | 689MB | ext4 | AREA0 | userfs 領域 |
| /dev/mmcblk0p4 | /opt/local | 689MB | ext4 | AREA1 | userfs 領域 |
| /dev/mmcblk0p5 | /mnt/share | 589MB | ext4 | - | 共有領域 |

### バージョン 1.4.0 以降の IoT ルーターの新 eMMC パーティション

userfs 領域と rootfs 領域と統合し、rootfs 領域のサイズを拡張しました。バージョン 1.3.2 以前の機器からバージョン 1.4.0 以降のファームウェアに 2 回以上ファームアップを行うと以下のパーティションに変更されます。userfs は削除されますのでご注意ください。また共有領域は保持されます。

| デバイスファイル | マウントポイント | 容量(変更後) | ファイルシステム | 冗長領域※1 | 用途 |
|---|---|---|---|---|---|
| /dev/mmcblk0boot0 | /mnt/config/area0 | 2.9MB | ext4 | AREA0 | 設定保存領域 |
| /dev/mmcblk1boot0 | /mnt/config/area1 | 2.9MB | ext4 | AREA1 | 設定保存領域 |
| /dev/mmcblk0p1 | / | **2.1GB** | ext4 | AREA0 | rootfs 領域 |
| /dev/mmcblk0p2 | / | **2.1GB** | ext4 | AREA1 | rootfs 領域 |
| **/dev/mmcblk0p3** | /mnt/share | 589MB | ext4 | - | 共有領域 |

### パーティションの確認

パーティションの識別は amsh を起動し、show firmware コマンドを実行してください。

```
amnimo$ show firmware
amnimo R series AR10 version 1.4.0 build 14245
 Kernel: 4.19.195-03791-g5cb3a77f0cb #1 SMP PREEMPT Tue Oct 5 12:29:31 UTC 2021
 Bootloader: g88baf9249d (Oct 05 2021 - 12:26:52 +0000)
 BootArea: 0
 Partitions: 5 ←「5」の場合は変更前の旧パーティション、「3」の場合は変更後の新パーティション
```

### 全体更新に関するファームアップ方法とバージョンの組み合わせによる制限事項

- 両面更新はバージョンに関係なしに全体更新が可能です。
- 片面更新については、以下の表に示すとおりパーティションとバージョンの組み合わせにより全体更新が不可能な場合があります。

パーティションとバージョンの組み合わせによる片面更新機能の実行可否

| パーティション | バージョン 1.3.2 以前へ | バージョン 1.4.0 以降へ |
|---|---|---|
| 旧パーティション | ○ | ○ |
| 新パーティション | × | ○ |

| | |
|---|---|
| ! | 本製品は、設定データに関しては製品バージョンの下位互換を保証していないため、バージョンダウンを行った場合は、正常に動作しない可能性があります。下位バージョンにバージョンダウンする場合は、設定データを別名ファイルとして保存し、両面更新することを推奨します。 |

## 2.4 remote.it バージョン 1.7.6 (エッジゲートウェイバージョン 1.4.4～1.5.1)における問題と回避方法について

remote.it バージョン 1.7.6 (エッジゲートウェイバージョン 1.4.4～1.5.1)では、remoteit の add コマンド実行時に以下の問題が発生します。

- サービスタイプのリストが正しく出力されない。
- サービスタイプを名前で登録しようとすると「無効」となり登録ができない。

上記問題を回避するためにデバイス登録以降に、一度「execute remoteit agent restart」を実行してください。

## 2.5 バージョン 1.4.5 以前の GUI 機能からのファームウェア更新時の問題と回避方法について

- ファームウェア更新後に GUI にアクセスすると読み込み中のままで、ログイン画面が表示されない場合があります。ファームウェア更新後、お使いのブラウザのキャッシュをクリアしてから GUI にアクセスしてください。
- ファームウェア画面で「パッケージ更新(差分更新)」を行うと読み込み中のまま、ファームウェア画面に戻らない場合があります。CLI でログインしバージョンが上がっていることを確認後、お使いのブラウザのキャッシュをクリアしてから GUI にアクセスしてください。

## 2.6 Nx Witness 5.0.0.35270 を利用する際の制限事項について

### 2.6.1 Nx Witness 4.2.0.32480 へのダウングレード

Nx Witness 5.0.0.35270 と Nx Witness 4.2.0.32480 は設定データに互換性がありません。ダウングレードをする場合は以下に注意してください。

- Nx Witness 4.2.0.32480 を使用する場合は V1.5.3 以前のバージョンのエッジゲートウェイのファームウェアをご利用ください。
- CLI/GUI により保存できる Nx Witness の設定データについては、Nx Witness 5.0.0.35270 の設定が保存されていると、Nx Witness 4.2.0.32480 にダウングレードした場合、Nx Witness サーバー正常に起動しません。エッジゲートウェイを V1.5.3 以前のバージョンにダウングレードする際は、事前にデータベースのバックアップファイル※（デフォルト設定では、/mnt/share/nxwitness/database/file.db）を削除してください。

※4.2.0.32480 時点でのデータベースのバックアップを別名保存し、ダウングレードの際に利用できるようにすると、以前の状態にロールバックすることが可能になります。

### 2.6.2 正常動作しないカメラに関するワークアラウンド

① 一部の Panasonic 製カメラ(ONVIF のベンダー情報：Panasonic)は、Nx Witness のカメラの自動検出機能が正常に動作しません。例) WV-S6110、WV-S3510

- 認証資格情報を入力しても「要認証」の表示ままカメラ映像が表示されません。
- 弊社で本事象を確認したカメラとカメラのファームウェアバージョンの組み合わせは以下になります。

| カメラ | カメラのファームウェアバージョン |
|---|---|
| Panasonic 製 WV-S3510 | V4.22<br>V5.01 |
| Panasonic 製 WV-S6110 | V4.80 |

➔ 一度カメラを削除し、「デバイス追加」から手動でカメラを登録することで正常に動作させることが可能です。

② 一部の i-PRO 製カメラ(ONVIF のベンダー情報：i-PRO)は、Nx Witness のカメラの自動検出機能が正常に動作しません。

- 認証資格情報を入力しても「要認証」の表示ままカメラ映像が表示されません。
- 手動でカメラを登録してもカメラ映像を表示することができません。V1.5.3 以前のバージョンをご利用ください。
- 弊社で本事象を確認したカメラとカメラのファームウェアバージョンの組み合わせは以下になります。

| カメラ | カメラのファームウェアバージョン |
|---|---|
| i-PRO 製 WV-S1135V | V1.20<br>V2.10 |

| | |
|---|---|
| | ③ Nx Witness 開発元のネットワークオプティクス社より本事象のワークアラウンドが公開されています。詳細は弊社サポートにご連絡ください。 |

## 2.7 remote.it 3.0.33 を利用する際の制限事項について

### 2.7.1 サービス終了時の制限事項

ネットワークに接続されていない状態で remote.it のサービスを終了する場合に、サービスの終了までに約 1 分以上かかる場合があります。

### 2.7.2 デバイス削除時の制限事項

前バージョンの remote.it 1.8.8 で作成した設定ファイル(/etc/remoteit/config.json)を remote.it 3.0.33 でも引き継ぎ利用する場合、デバイス削除(sudo remoteit unregister)を行うと、その後のデバイス登録(sudo remoteit register)が正常に行うことができません。

#### ワークアラウンド

設定を引き継いで利用する場合は、デバイスを削除する方法は以下の手順を実行してください。

```
$ sudo remoteit uninstall
$ cd /usr/bin                    ←3.0.33 ではインストールパスで実行する必要があるため
$ sudo remoteit tools install --yes ↵
$ sudo remoteit agent install ↵
```

# 改訂履歴

| 版数 | 発行日 | 改訂内容 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 1 版 | 2020 年 12 月 1 日 | エッジゲートウェイ屋内タイプリリース、<br>ファームウェア V1.1.2 リリースのため。 | GW |
| 2 版 | 2021 年 3 月 31 日 | IoT ルーター屋内タイプリリース、<br>ファームウェア V1.2.0 リリースのため。 | RT |
| 3 版 | 2021 年 4 月 28 日 | ファームウェア V1.2.1 リリースのため。 | GW RT |
| 4 版 | 2021 年 5 月 18 日 | ファームウェア V1.2.2 リリースのため。 | GW RT |
| 5 版 | 2021 年 7 月 5 日 | ファームウェア V1.2.3 リリースのため。 | GW RT |
| 6 版 | 2021 年 9 月 10 日 | ファームウェア V1.3.0、1.3.1 リリースのため。 | GW RT |
| 7 版 | 2021 年 10 月 4 日 | ファームウェア V1.3.2 リリースのため。 | GW RT |
| 8 版 | 2021 年 10 月 22 日 | ファームウェア V1.4.0 リリースのため。 | GW RT |
| 9 版 | 2021 年 10 月 27 日 | ファームウェア V1.4.1 リリースのため。 | GW RT |
| 10 版 | 2021 年 12 月 6 日 | ファームウェア V1.4.2 リリースのため。 | GW RT |
| 11 版 | 2021 年 12 月 24 日 | ファームウェア V1.4.3 リリースのため。 | GW RT |
| 12 版 | 2022 年 1 月 18 日 | エッジゲートウェイ屋外タイプリリース、<br>ファームウェア V1.4.4 リリースのため。 | GW RT GW |
| 13 版 | 2022 年 2 月 21 日 | IoT ルーター屋外タイプリリース、<br>ファームウェア V1.4.5 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 14 版 | 2022 年 5 月 19 日 | ファームウェア V1.5.0 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 15 版 | 2022 年 6 月 15 日 | ファームウェア V1.5.1 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 16 版 | 2022 年 7 月 15 日 | ファームウェア V1.5.2 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 17 版 | 2022 年 7 月 28 日 | ファームウェア V1.5.3 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 18 版 | 2022 年 10 月 18 日 | ファームウェア V1.6.0 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 19 版 | 2022 年 11 月 15 日 | ファームウェア V1.6.1 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 20 版 | 2023 年 1 月 13 日 | ファームウェア V1.8.2 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 21 版 | 2023 年 1 月 24 日 | 既知問題に No.77 を追加。 | GW RT GW RT |
| 22 版 | 2023 年 2 月 10 日 | ファームウェア V1.8.3 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 23 版 | 2023 年 4 月 5 日 | ファームウェア V1.8.4 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 24 版 | 2023 年 5 月 11 日 | ファームウェア V1.9.2 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 25 版 | 2023 年 6 月 1 日 | ファームウェア V1.9.4 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 26 版 | 2023 年 7 月 24 日 | ファームウェア V1.9.5 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 27 版 | 2023 年 8 月 9 日 | ファームウェア V1.9.6 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 28 版 | 2023 年 9 月 28 日 | ファームウェア V1.9.7 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 29 版 | 2023 年 10 月 24 日 | ファームウェア V1.9.8 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 30 版 | 2023 年 11 月 7 日 | amnimo G シリーズ用ファームウェア V2.1.0 リリースのため。 | GW GW |
| 31 版 | 2023 年 11 月 13 日 | ファームウェア V2.1.0 リリースに関する仕様変更を追記。 | GW GW |
| 32 版 | 2023 年 11 月 27 日 | amnimo R シリーズ用 IoT ルーター(屋内タイプ)用ファームウェア V2.1.0 リリースのため。 | RT |
| 33 版 | 2023 年 12 月 14 日 | amnimo G シリーズ用ファームウェア V1.9.9 リリースのため。 | GW GW |
| 34 版 | 2024 年 3 月 15 日 | amnimo X シリーズ用ファームウェア V2.4.1 リリースのため。 | AI |

| 版数 | 発行日 | 改訂内容 | 対象機器 |
|---|---|---|---|
| 35 版 | 2024 年 4 月 1 日 | ファームウェア V2.4.2 リリースのため。 | AI GW RT GW |
| 36 版 | 2024 年 5 月 29 日 | 制限事項と既知問題に関する誤記修正。<br>(No.107 は存在せず、No.82、No.112 は解決済み) | AI GW RT GW |
| 37 版 | 2024 年 6 月 5 日 | ファームウェア V2.4.3 リリースのため。<br>制限事項と既知問題に関する誤記修正。<br>(No.99 は存在しないことが判明しましたので、削除しました。) | AI GW GW |
| 38 版 | 2024 年 7 月 5 日 | 既知問題に No.116 を追加。 | AI GW GW |
| 39 版 | 2024 年 8 月 20 日 | ファームウェア V2.6.0 リリースのため。 | AI GW RT GW |
| 40 版 | 2024 年 11 月 19 日 | ファームウェア V2.6.2 リリースのため。 | AI GW RT GW |
| 41 版 | 2024 年 12 月 16 日 | amnimo X シリーズ屋外タイプリリースのため。 | AI AI GW RT GW |
| 42 版 | 2025 年 3 月 7 日 | ファームウェア V2.7.0 リリースのため。 | RT |
| 43 版 | 2025 年 5 月 15 日 | amnimo X シリーズ用センサー接続ゲートウェイファームウェア V3.0.0 リリースのため。 | SN |
| 44 版 | 2025 年 6 月 4 日 | amnimo R シリーズ用ファームウェア V2.7.1 リリースのため。 | RT RT |
| 45 版 | 2025 年 6 月 19 日 | amnimo X シリーズ用 AI エッジゲートウェイファームウェア V3.1.0 リリースのため。 | AI AI |
| 46 版 | 2025 年 7 月 31 日 | amnimo G シリーズおよび amnimo R シリーズ用ファームウェア V3.2.0 リリースのため。 | GW RT GW RT |
| 47 版 | 2025 年 8 月 22 日 | amnimo X シリーズ用ファームウェア V3.2.0 リリースのため。 | AI AI SN |
| 48 版 | 2025 年 8 月 29 日 | 既知問題に No.190 を追加。 | GW GW |
| 49 版 | 2025 年 9 月 9 日 | amnimo X シリーズ用ファームウェア V3.1.0 の Nx Witness バージョンの誤記の修正。 | AI AI |
| 50 版 | 2025 年 11 月 21 日 | amnimo G シリーズ、amnimo R シリーズおよび、amnimo X シリーズ用ファームウェア V3.4.0 リリースのため。 | SN AI AI GW RT GW RT |

amnimo

amnimo X/G/R シリーズ リリースノート
2025 年 11 月 21 日 第 50 版

IM AMD03A91-01JA

All Rights Reserved. Copyright © 2020-2025, amnimo Inc